



Infor LN 調達 購買オーダーユーザ ガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	procpoug (U9824)
リリース	10.5 (10.5)
発行日	2017 年 12 月 21 日

目次

文書情報

第1章 概要.....	11
販売オーダー処理の概要.....	11
購買マスターデータ.....	11
購買オーダーのオプション処理.....	11
第2章 手順.....	13
購買オーダー手順.....	13
第3章 統合.....	19
購買オーダーの統合の概要.....	19
統合条件.....	19
統合する購買オーダー.....	19
購買オーダーの統合.....	20
統合処理.....	20
第4章 直送.....	23
直送販売オーダー.....	23
直送および返品オーダー.....	25
直送および輸送オーダー.....	25
直送とバックオーダー.....	25
直送サービスオーダー.....	25
直送および返品オーダー.....	27
直送および輸送オーダー.....	27
直送とバックオーダー.....	27
第5章 静的クロスドッキング.....	29
クロスドッキングタイプ.....	29
クロスドッキング手順.....	29
第6章 購買オーダーおよび輸送オーダー.....	33
調達および輸送の統合.....	33
輸送オーダー管理と調達の統合.....	33
輸送請求と購買請求間の統合.....	33

輸入仕入原価と輸送の統合.....	33
輸送オーダー管理と調達の統合.....	34
輸送請求と購買請求の統合.....	35
マスタデータ.....	35
請求方法.....	36
直送販売オーダーに関する輸送オーダー.....	37
直送販売オーダーについての輸送オーダーの生成.....	37
直送サービスオーダーについての輸送オーダーの生成.....	39
第7章 購買オーダーおよび作業/サービスオーダー.....	43
調達とサービスの統合.....	43
追加部品の購入.....	44
調達におけるサービス外注.....	45
マスタデータ.....	45
サービスからの購買伝票の生成.....	45
購買要求.....	46
見積依頼 (RFQ).....	47
購買オーダー.....	47
入庫と消費.....	47
サービス外注価格.....	48
第8章 バックオーダー.....	49
購買バックオーダー.....	49
バックオーダー - 自動確認.....	49
バックオーダー - マニュアル確認.....	51
第9章 返品オーダー.....	55
購買返品オーダー.....	55
返品オーダーマスタデータ.....	55
返品在庫手順.....	56
返品不合格品手順.....	57
第10章 オプション処理.....	59
購買オーダーのコピー.....	59
購買オーダーのグローバル貿易コンプライアンス.....	59
購買オーダーライン.....	59

構成要素.....	60
輸入コンプライアンスチェック.....	60
督促状の出力.....	61
クレームの出力.....	61
購買請求書の出力.....	61
購買オーダの削除.....	61
入庫または消費後の価格や値引の変更.....	61
入庫後の価格または値引の変更.....	62
消費後の価格または値引の変更.....	63
付録A 用語集.....	65
索引	

文書情報

この文書では、購買オーダーの概要を紹介し、購買オーダー手続きの機能とステップについて説明します。

前提とする知識

このガイドを読む上で、LN ソフトウェアに関する詳細な知識は不要ですが、Infor LN の機能の一般知識があるとこのガイドの理解に役立ちます。

本書の概要

次の表にこのガイドの各章を示します。

章番号	章タイトル	内容
第 1 章	概要	購買オーダーの概要
第 2 章	手順	購買オーダー手順のステップ
第 3 章	統合	購買オーダーおよびオーダーラインの統合
第 4 章	直送	直送オーダーの処理
第 5 章	静的クロスドッキング	購買オーダーのクロスドッキングの処理
第 6 章	購買オーダーおよび輸送オーダー	購買オーダーからの輸送オーダーの生成
第 7 章	購買オーダーおよび作業/サービスオーダー	作業/サービスオーダーからの購買オーダーの生成
第 8 章	バックオーダー	購買バックオーダーの処理
第 9 章	返品オーダー	購買返品オーダーの処理
第 10 章	オプション処理	購買オーダー手順のその他の機能の選択

参照

このガイドは、購買オーダーの第 1 の参照先として使用します。このガイドで説明されていない情報を調べるには、次の関連参照先の最新版を使用してください。

- 購買マスターデータユーザガイド U9817 JA
購買マスターデータの設定を理解するために使用します。
- 購買要求ユーザガイド U9820 JA
購買要求マスターデータを含む、購買要求手順を理解するために使用します。
- 見積依頼 (RFQ) ユーザガイド U9821 JA
購買オーダー手順を理解するために使用します。

- 購買と販売スケジュールユーザガイド U9822 JA
購買契約手順を理解するために使用します。
- 購買と販売スケジュールユーザガイド U9541 JA
購買スケジュールマスタデータを含む、購買スケジュール手順を理解するために使用します。
- 購買業者評価ユーザガイド U9823 JA
購買業者評価を理解するために使用します。
- 統計ユーザガイド U9816 JA
統計手順を理解するために使用します。
- 追加情報フィールドユーザガイド
追加情報フィールドの目的と使用方法を理解するために使用します。
- 輸入仕入原価ユーザガイド U9675 JA
輸入仕入原価の設定および使用を理解するために使用します。
- 発注先段階的支払ユーザガイド U9819 JA
発注先段階的支払の設定および使用を理解するために使用します。
- 外注ユーザガイド U9361 JA
外注機能を理解するために使用します。
- 販売業者管理在庫ユーザガイド U9501 JA
委託在庫の使用などの販売業者管理在庫機能を理解するために使用します。
- プロジェクトペギングユーザガイド U9777 JA
プロジェクトペギング機能を理解するために使用します。
- 予算管理ユーザガイド U9655 JA
予算管理機能を理解するために使用します。
- 価格設定ユーザガイド U9179 JA
価格設定機能を理解するために使用します。
- 資材価格設定ユーザガイド U9865 JA
資材価格設定機能を理解するために使用します。

本書の使い方

本書はオンラインヘルプのトピックを集めてまとめたものです。そのため、以下の例のようにその他のセクションへの参照が示してあります。

詳細は、「概要」を参照してください。参照セクションを見つけるには、本書の目次または巻末の索引を参照してください。

下線の付いた用語は、用語集の定義へのリンクが付いていることを示しています。本書をオンラインで表示する場合は、下線の付いた用語をクリックすると、本書の巻末にある用語集の定義に移動します。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

販売オーダー処理の概要

商品を購入するための購買オーダーを作成および変更できます。たとえば、在庫がなくなった場合、購買オーダー手順を実行して在庫を補充できます。さらに、購買オーダー手順を使用して、サービスなどを購入することもできます。確認の後、購買オーダーは、特定の価格および値引など、一定の条件に従って品目を供給する法的な義務になります。

オーダーを処理すると、計画、製造、配送、財務、購買、マーケティングなど、会社のさまざまな部署により情報が使用されます。

購買マスターデータ

購買オーダー手順を完了するには、事前に購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションで購買オーダーパラメータを指定し、購買マスターデータを指定する必要があります。

購買オーダーのオプション処理

多くの処理は、購買オーダー手順で必ず発生するわけではありませんが、直送、バックオーダー、返品オーダーなどの特定の状況で適用することができます。

詳細は、次の情報を参照してください: 購買オーダー - オプション処理

購買オーダー手順

購買オーダー手順には、商品またはサービスを購買する管理手順全体が含まれています。
この手順には、次のステップが含まれます。

ステップ 1: 購買オーダーの作成

購買オーダーは、購買オーダー - ライン(tdpur4100m900) セッションで次の方法で作成できます。

- [EP]、[販売]、[サービス] などのさまざまなソースから自動作成
- 購買オーダーのコピー (tdpur4201s000) セッションの既存のオーダーからコピー
- マニュアル。

ステップ 2: 購買オーダーの承認

購買オーダーの手順では、購買オーダーを作成した後に購買オーダーを承認するステップが必要です。
オーダー手順の活動の実行は、オーダーを承認したときに開始できます。

ステップ 3: 購買オーダーの出力

オーダーを登録および承認したら、購買オーダーを出力して、確認として購買元取引先に送信できます。購買オーダーの出力 (tdpur4401m000) セッションが必須であるのは、メールまたは電子データ交換 (EDI) を使用して購買元取引先に購買オーダーを送信する場合だけです。電話を使用して購買オーダーを送信する場合、この手順はオプションです。

購買オーダーを出力した後も、購買オーダーを変更できます。

ステップ 4: 購買オーダーを倉庫管理に発行

購買オーダーについて購買元取引先に通知し、購買オーダーが承認された後、倉庫管理へ購買オーダーを発行 (tdpur4246m000) セッションで購買オーダーを倉庫管理に発行できます。これで、倉庫部署に予想される商品が通知されます。

購買オーダーが倉庫に発行されると、倉庫オーダーでいくつかの活動がトリガされ倉庫オーダー (whinh2100m000) セッションで倉庫オーダー作成が開始されます。倉庫オーダーの活動は購買オーダータイプにリンクされている倉庫オーダータイプによって決まります。

倉庫オーダータイプを購買オーダータイプにリンクするには:

1. 手順別活動 (whinh0106m000) セッションで、活動を倉庫手順にリンクします。
2. 倉庫オーダータイプ (whinh0110m000) セッションで、倉庫手順を倉庫オーダータイプにリンクします。
3. 購買オーダータイプ (tdpur0194m000) セッションで、倉庫オーダータイプをリンクします。

原価品目およびサービス品目の購買オーダーは、必ずしも倉庫管理に対して発行する必要はありません。これは、品目 - 購買 (tdipu0101m000) セッションの [倉庫に発行] チェックボックスの設定によって決まります。直送が倉庫管理に発行されることはありません。

ステップ 5: 購買された商品の入庫

購買済商品の入庫は、倉庫管理または調達で記録できます。

- 倉庫管理
購買オーダーが倉庫管理に発行された場合、入庫手順は、在庫処理 (INH) の入庫手順と検査手順によって行われます。
倉庫管理で入庫が記録されると、入庫データが調達に報告されます。このデータは、次のセッションで表示できます。
 - 購買オーダー - 入庫概要 (tdpur4531m000)
 - 購買入庫 (tdpur4106m000)
- 調達
倉庫管理に発行されない非在庫品目の場合、入庫を購買オーダー - 入庫予定ライン (tdpur4501m400) セッションおよび購買入庫 (tdpur4106m000) セッションで記録できます。

購買入庫 (tdpur4106m000) セッションで入庫を確認すると、その後は、このセッションでその入庫データを変更できなくなります。しかし、購買入庫の修正 (tdpur4106s100) セッションではその後も特定の入庫データを変更できます。

商品が入庫されたときに、商品の価格と値引が変更されます。価格および値引をメンテナンスするには、入庫後の価格および値引の変更 (tdpur4122m000) セッションを使用します。

ステップ 6: 購買済商品の支払

購買済商品の支払を管理するには、買掛金 (ACP) を使用します。この処理は、財務会計パッケージが実装されている場合にのみ実行できます。

購買オーダー手順では、取引先が請求書を送信する必要はありません。代わりに、自己請求を使用して、購買済商品の請求書を自動生成できます。

自己請求は通常、次の場合に使用します。

- 購買する商品に関する、取引先との契約がある場合
- 商品の請求書を受け取らなくても商品の支払を行う、取引先との合意がある場合

自己請求は、購買オーダー (tdpur4100m000) セッションおよび購買オーダーライン (tdpur4101m000) セッションの次のフィールドにより制御されます。

- [自己請求]
このチェックボックスをオンにした場合、各オーダーライン入庫について請求を生成できます。購買オフィスがリンクされている財務会社では、オーダーラインを選択し、自己請求購買請求書の生成 (tfacp2290m000) セッションで請求書を生成できます。

- [請求開始時点]
このフィールドは、次の値をとることができます。
 - [検査]
自己請求請求書は、特定の入庫に関するすべての検査が終了した後、合計承認済入庫数量についてのみ作成できます。
 - [入庫]
合計入庫数量には、自己請求請求書をすぐに作成できます。検査後に一部の数量が不合格の場合は、自己請求購買請求書の生成 (tfacp2290m000) セッションで、不合格な数量分の請求書が作成されます。この請求書には負の数量が含まれます。

ステップ 7: 購買オーダーの処理

購買オーダー手順の終わりに、納入済購買オーダーの処理 (tdpur4223m000) セッションですべての購買オーダーを処理する必要があります。処理が済んだ購買オーダーは、通常のデータベースから履歴データベースに転送されます。

注意

これらのセッションを使用して、購買担当の注意が必要な購買オーダーラインを表示し、そのラインに適切なアクションを実行できます。

- 購買オーダー入力ワークベンチ (tdpur4601m200)
特定の活動がまだ実行されていないオーダーライン、または未確認のデータやバックオーダー数量が存在するオーダーラインを表示します。
- 購買オーダー履行ワークベンチ (tdpur4601m300)
未入庫で期日が迫っているオーダーライン、または期日 (計画入庫日) を過ぎたオーダーラインを表示します。

購買オーダーの承認

購買オーダーの手順では、購買オーダーを作成した後に購買オーダーを承認するステップが必要です。

購買オーダーは、次の方法で承認できます。

- 購買オーダーの承認 (tdpur4210m100) セッションで、一定範囲の購買オーダーを承認ルールに基づいて承認する
- 購買オーダーの承認 (tdpur4210m100) セッションで一定範囲の購買オーダーをマニュアルで承認する
- 特定の購買オーダーをマニュアルで承認する。特定の購買オーダーを承認するには購買オーダー (tdpur4100m000) セッションまたは購買オーダー (tdpur4100m900) セッションの適切なメニューにある [承認] をクリックします。購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [承認ルール必須] チェックボックスがオンの場合、このコマンドは無効です。

備考

- 統合を待機している購買オーダーは、実際に統合されるまで承認できません。
- オーダー条件 (tctrm1130m000) セッションまたは購買元の取引先 (tccom4120s000) セッションの [確認の使用] チェックボックスがオンの場合、購買オーダーラインで [確認数量] および [オーダー確認日] フィールドに入力するまでは購買オーダーを承認できません。
- 購買オーダーが承認されると、柔軟に購買オーダー処理を開始できます。

購買オーダーおよびスケジュールの処理

次の処理ができます。

- 納入済購買オーダーの処理 (tdpur4223m000) セッションの購買オーダーおよび購買オーダーライン
- 納入済購買スケジュールの処理 (tdpur3223m000) セッションの購買スケジュールライン

注意

財務会計が導入されている場合、状況が [請求済] の購買スケジュールラインを処理できます。財務会計が導入されていない場合は、状況が [最終在庫] の購買スケジュールラインを処理できます。

処理アクション

LNは次の処理を実行します。

- 取引高履歴の挿入
- 契約データおよび履歴の更新 (契約を使用した場合)。コール数量/金額が減り、請求数量と金額が増えます。取引高が契約履歴に書き込まれます。このアクションは、購買契約パラメータ (tdpur0100m300) セッションの [契約取引高のログ] チェックボックスがオンの場合にのみ実行されます。この方法で、どのオーダー/スケジュールが契約の数量をコールオフしたかを確認できます。
- 請求元取引先の残高の更新
- 平均/最新購買価格の更新。財務会計が導入されている場合、このアクションは請求書照合手順で実行されます。この手順は、受取済購買請求書の確認 (tfacp1104m000) セッションで請求書を承認すると実行できます。
- 実際購買価格による取引高履歴の書込および更新。プラスおよびマイナス数量の転記が行われます。
このアクションは次の場合にのみ発生します。
 - 購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションで [オーダー履歴データのログ] チェックボックスがオンになっており、[入力のログ記録レベル] が [すべて] に設定されている
 - 購買スケジュールパラメータ (tdpur0100m500) セッションで [スケジュール履歴のログ] チェックボックスがオンになっており、[入力のログ記録レベル] が [すべて] に設定されている
- 購買スケジュールラインの状況を [処理済] に設定
- すべてのラインが処理済または取消済になったときにスケジュールヘッダの状況を [終了処理中] から [終了] に変更

委託補充オーダーの処理

委託の場合、購買オーダーが 2 つ存在できます。1 つは補充オーダー、もう 1 つは商品の支払オーダーです。委託補充オーダーは、契約にリンクできます。委託補充オーダーが処理されても、請求書は作成されないため、契約データは更新されません。

委託支払が完了しオーダーが処理されると、次のアクションが実行されます。

1. 委託補充オーダーの検索
2. 委託補充オーダーからの契約の取得
3. 購買契約のコール数量および金額と、請求済数量および金額の更新

購買オーダーの処理と、購買請求書の照合および承認の違い

購買オーダーの処理と財務会計での購買オーダーの照合と承認は、互いに独立して実行可能です。購買オーダーの処理後に購買請求書を承認した場合、請求額は取引高履歴レコードに書き込まれません。したがって、この状況を修正するために納入済購買オーダーの処理 (tdpur4223m000) セッションを再実行する必要があります。請求額が取引高履歴レコードにまだ書き込まれていないので、その請求額の取引高履歴レコード (- と +) が追加されます。

購買オーダーおよびスケジュール履歴

購買オーダーおよびスケジュール履歴は、購買オーダーおよびスケジュールの作成や修正を記録するために使用します。オリジナルの購入オーダーおよびスケジュールが削除された後、一定の情報を保存できます。

オーダーおよびスケジュールの作成、取消、または処理の履歴を登録するには、次のチェックボックスをオンにします。

- 購買オーダー
購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [オーダー履歴のログ] および [実際オーダー在庫履歴のログ]
- 購買スケジュール
購買スケジュールパラメータ (tdpur0100m500) セッションの [スケジュール履歴のログ] および [実際スケジュール在庫履歴のログ]

履歴ファイルの内容

購買オーダー/スケジュール履歴ファイルには、次の項目が含まれています。

- すべての作成済購買オーダー/スケジュール (ライン)。これらのオーダー/スケジュール (ライン) は、まだ処理されていないオーダー/スケジュール (ライン) です。
- すべての請求済購買オーダー/スケジュール (ライン)。これらのオーダー/スケジュール (ライン) は、処理済のオーダー/スケジュール (ライン) です。

履歴ファイルは、次のレコードタイプで構成されます。

- [入力]
オーダー/スケジュールラインが追加、変更、または削除されました。
- [取消]
オーダー/スケジュールラインは取り消されました。
- [取引高]
オーダーラインが納入済購買オーダーの処理 (tdpur4223m000) セッションで処理されたか、納入済購買スケジュールの処理 (tdpur3223m000) セッションで処理されました。

次の表に示すフィールドが、購買オーダー/スケジュール履歴ファイルを更新するかどうか、また更新する場合のタイミングとその方法を決定します。

購買オーダー

フィールド	セッションから取得
[オーダー履歴データのログ]	購買オーダー (tdpur4100m000)
[履歴ログの開始時点]	購買オーダー (tdpur4100m000)

[入力のログ記録レベル]	購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400)
[実際オーダー在庫履歴のログ]	購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400)
購買スケジュール	
フィールド	セッションから取得
[スケジュール履歴のログ]	購買スケジュール (tdpur3110m000)
[入力のログ記録レベル]	購買スケジュールパラメータ (tdpur0100m500)
[実際スケジュール在庫履歴のログ]	購買スケジュールパラメータ (tdpur0100m500)

購買スケジュールでは、履歴ログは常に承認中に開始します。

履歴ファイルの消去

購買オーダー/スケジュール履歴のアーカイブおよび削除 (tdpur5201m000) セッションを使用すると、履歴データの合計金額を制限できます。

履歴ファイルは、統計の基盤であることに注意してください。履歴ファイルを削除する前に、統計がすべて更新されていることを確認してください。更新前に履歴ファイルを削除すると、統計を完全に更新することができなくなります。

注意

履歴データは修正できません。これは、参考情報の目的でのみ使用します。

購買オーダーの統合の概要

統合できる購買オーダーは、発生元が次の場合です。

- 企業計画
- ジョブショップ管理モジュール
- プロジェクト
- 倉庫管理
- 販売管理モジュール
- サービス
- 見積依頼 (RFQ)
- 購買要求
- マニュアル購買オーダー

上記のいずれかの発生元で購買オーダーを作成すると、次の場合に、LN により購買管理モジュールで異なる発生元の各種購買オーダーを統合できるようになります。

統合条件

購買オーダーを統合するには、次の条件が該当する必要があります。

- 購買オーダーの発生元について、購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [統合対象] チェックボックスがオンの場合
- オーダーラインに入力されている品目および取引先について、品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションの [統合] チェックボックスがオンの場合

統合する購買オーダー

統合を待機している購買オーダーについて、統合条件が満たされている場合、次のセッションの [統合] チェックボックスがオンになっている

- 購買オーダー (tdpur4100m000)
- 購買オーダー (tdpur4100m900)
- 購買オーダーライン (tdpur4101m000)
- 購買オーダーライン詳細 (tdpur4101m200)

統合を待機している購買オーダーを表示するには、これらのセッションの [統合] チェックボックスをオンにします。

購買オーダーの統合 (tdpur4210m000) セッションの購買オーダーを統合し、統合された購買オーダーを承認する必要があります。

詳細は、次の情報を参照してください::

- 購買オーダーの統合 (ページ 20)
- 購買オーダーの承認

注意

- 統合条件を満たさない場合、購買管理モジュールで通常の購買オーダーが生成されます。
- 統合を待機している購買オーダーは、実際に統合されるまで承認できません。

購買オーダーの統合

[作成済] 状況の購買オーダーは、統合できます。

購買オーダーを統合するには、購買オーダー (tdpur4100m000) セッションまたは購買オーダー (tdpur4100m900) セッションの適切なメニューで [購買オーダーの統合] をクリックします。これにより、購買オーダーの統合 (tdpur4210m000) セッションが開始され、選択範囲を入力できます。

統合処理

ステップ 1: ヘッダレベルの統合

購買オーダーの統合 (tdpur4210m000) セッションで [統合] チェックボックスをオンにすると、各購買オーダーの購買オーダーヘッダフィールドが比較されます。ヘッダフィールドが一致する場合、最初に、対応するラインが 1 つの新しいヘッダに書き込まれます。この処理は、次のヘッダについても繰り返されます。ヘッダフィールドが一致する場合、このヘッダが前に作成されたヘッダにコピーされます。フィールドが一致しない場合は、新しいヘッダが作成されます。この処理は、その後の各ヘッダについても繰り返されます。

ステップ 2: ラインレベルの統合

オーダーヘッダの比較後、ラインは購買オーダーラインフィールドに従ってソートされます。たとえば、同じ [品目]、[支払]、および [支払条件] を持つラインは 1 つのラインに統合され、オリジナルの要求ラインがライン詳細として保存されます。詳細フィールドのみが異なるラインは同じ位置に統合されますが、ラインごとにリンクされるラインデータが異なるため、異なる連番となります。

購買オーダーラインがプロジェクトペグされる場合、購買オーダーラインの統合はプロジェクトの組合せチェックを前提とします。プロジェクトペグに関する統合ルールは、共通情報の下の「プロジェクトペギング」で指定でき、これらのルールによって、異なるペグを持つラインを 1 つの購買オーダーラインに統合可能かどうかが決まります。

購買オーダーに指定した価格は、統合処理時に上書きされます。有効な価格/値引構造がオーダーラインにリンクされている場合、オーダーラインのライン詳細の合計数量には、価格設定から価格が取得されます。オーダーラインの有効な価格/値引構造を定義していない場合、品目購買データから価格が取得されます。

購買契約にリンクされている購買オーダーラインを統合する場合、同じ契約にリンクされているラインが統合されます。統合オーダーラインの価格は、契約の有効な購買契約価格改訂から取得されます。有効な契約価格改訂が定義されていない場合は、品目購買データから価格が取得されます。

ステップ 3: 承認

ラインとヘッダレベルの両方の統合を実行してから、統合オーダーを承認する必要があります。次に、オリジナルオーダーが削除され、関連する LN モジュールが新しいオーダー番号で更新されます。これにより、これらのモジュールのリンクされているオーダーラインデータの状況は、[承認済] になります。

販売オーダーまたはサービスオーダー上で、販売商品を直送するかどうかを指定できます。直送の場合は、販売オーダーまたはサービスオーダーに基づいて購買オーダーが作成されます。購買元取引先が商品を販売先取引先に直接納入するので、倉庫管理は関係しません。

直送販売オーダー

直送販売オーダーを生成して処理するには、次の操作を実行します。

ステップ 1: [納入タイプ]

直送販売オーダーを作成するには

- 販売オーダータイプ (tdsls0594m000) セッションで、該当の販売オーダータイプについて [購買オーダー生成可能] チェックボックスをオンにする必要があります。
- 販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションまたは販売オーダー計画納入ライン (tdsls4101m100) セッションの [納入タイプ] フィールドが [直送] である必要があります。これらのセッションでは、次のようにして [直送] 納入タイプを選択できます。
 - オーダー数量が品目 - 販売 (tdisa0501m000) セッションの [直送数量] フィールドで定義された数量以上の場合、自動的に選択
 - [直送]
 - 品目に在庫不足が存在する場合に表示される在庫不足メニュー (tdsls4830s000) セッションから [直送オーダーの生成] を選択

ステップ 2: 購買オーダー勧告の作成

販売オーダーラインが承認されて、販売オーダーの購買オーダー勧告の生成 (tdsls4240m000) セッションがオーダータイプ (tdsls0694m000) セッションのオーダータイプに活動としてリンクされると、販売オーダーの購買オーダー勧告の生成 (tdsls4240m000) セッションの販売オーダーラインに購買オーダー勧告が生成されます。

このステップは、販売オーダーの購買オーダー勧告の生成 (tdsls4240m000) セッションではなく購買オーダーの生成 (tdsls4241m000) セッションがオーダータイプに活動としてリンクされている場合には該当しません。

ステップ 3: 直送購買オーダーの作成

購買オーダーは、直送販売オーダーに生成する必要があります。購買オーダーの生成方法は、販売オーダーラインに購買オーダー勧告がすでに存在しているかどうかによって決まります。

- 購買オーダー勧告がない
購買オーダーの生成 (tdsls4241m000) セッションで、直送販売オーダーに購買オーダーを生成できます。[直送] チェックボックスをオンにして、[直送] グループボックスのフィールドを指定します。
- 購買オーダー勧告が存在する
生成済の購買オーダー勧告をLNによって自動的に購買オーダーに変換したい場合は、販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションの [購買勧告を購買オーダーに自動変換] チェックボックスをオンにする必要があります。このチェックボックスがオフの場合、購買オーダー勧告確認 (whina3211m000) セッションおよび購買オーダー勧告転送 (whina3212m000) セッションで、購買オーダー勧告の確認と購買オーダーへの転送をマニュアルで行う必要があります。

購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの次のフィールドを使用して、直送購買オーダーが生成されます。

[直送のオーダーシリーズ]	[直送のオーダーシリーズ]
[直送のオーダータイプ]	[直送のオーダータイプ]

購買オーダーが生成されると、販売オーダーラインモニタ (tdsls4510m100) セッションの元の販売オーダーラインの状況が「直送待ち」になります。

ステップ 4: 直送オーダーの受領

事前出荷通知を使用している場合、出荷通知 (whinh3100m000) セッションで [直送ラインの受領] をクリックした時点で、直送販売オーダー用に購買された品目の入庫が購買入庫 (tdpur4106m000) セッションに挿入されます。事前出荷通知を使用していない場合は、直送販売オーダーに対応する入庫を購買入庫 (tdpur4106m000) セッションでマニュアル指定する必要があります。

ロットとシリアルを登録する必要がある場合、ロットとシリアルの設定が完了する前に、購買入庫 (tdpur4106m000) セッションで入庫を確認することはできません。

ステップ 5: 納入に関する情報を販売に通知

納入情報を含む販売/サービスオーダーの更新 (tdpur4222m000) セッションを実行して、最終入庫のために品目、数量、ロット、およびシリアルの情報を販売に通知します。

購買入庫 (tdpur4106m000) セッションで登録される購買オーダー入庫ラインごとに、販売オーダーライン (tdsls4101m900) セッションおよび販売オーダー実際納入ライン (tdsls4106m000) セッションで販売オーダー納入ラインが作成されます。

ステップ 6: 販売先取引先への販売請求書の送付

入庫が調達に記帳され、納入情報を含む販売/サービスオーダーの更新 (tdpur4222m000) セッションで販売に送信された後に、販売オーダー/スケジュールの請求への発行 (tdsls4247m000) セッションで請求用の販売オーダーデータを発行できます。

ステップ 7: 直送オーダーの処理

購買オーダーは納入済購買オーダーの処理 (tdpur4223m000) セッションで処理し、販売オーダーは納入済販売オーダーの処理 (tdsls4223m000) セッションで処理します。

直送および返品オーダー

直送販売オーダーの入庫した品目を返品する場合、販売オーダー (tdsls4100m900) セッションで直送販売返品オーダーをマニュアル入力する必要があります。

直送購買返品オーダーは、購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [サービス直送の返品オーダータイプ] フィールドに基づいて生成できます。

次に、購買オーダータイプの通常の手順が適用されます。

直送および輸送オーダー

輸送を使用して直送を管理および計画する場合、直送輸送オーダーを生成できます。

詳細は、次の情報を参照してください: 直送販売オーダーについての輸送オーダーの生成 (ページ 37)

直送とバックオーダー

納入が販売に送信された後にオーダーよりも入庫が少ない場合、購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [バックオーダーを自動確認] チェックボックスの設定とは関係なく、調達で確認済バックオーダーが自動的に生成されます。最初に販売でバックオーダーをマニュアルで確認する必要があるかどうかは、販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションの [バックオーダーを自動確認] チェックボックスの設定により異なります。

注意

- 販売では、入庫が実行されるまでバックオーダー数量を変更できます。
- 直送バックオーダーの輸送オーダーを生成することもできます。
- 調達では、直送バックオーダーを取り消すことはできません。
- 調達では、直送バックオーダーを削除することのみできます。ただし、この削除は販売に送信されません。

直送サービスオーダー

直送サービスオーダーを生成して処理するには、次の手順を実行する必要があります。

ステップ 1: [納入タイプ]

1. サービスオーダー (tssoc2100m100) セッションで、サービスオーダーを指定して、活動をこのサービスオーダーにリンクします。
2. サービスオーダー見積材料費 (tssoc2120m000) セッションで直送ラインを指定し、[納入タイプ] フィールドを [発注先直送] に設定します。

この段階で、サービスオーダーの状況が [フリー] になります。

ステップ 2: サービスオーダーの計画

サービスオーダー資源計画 (tssoc2260m000) セッションを使用して、サービスオーダーを計画します。

購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの次のフィールドがサービスオーダー資源計画 (tssoc2260m000) セッションの [購買オーダー直送] グループボックスにコピーされます。

- [直送のオーダーシリーズ]
- [直送のオーダータイプ]

ステップ 3: 直送購買オーダーの生成および承認

サービスオーダーの状況が [計画済] になると、購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションで指定されたオーダータイプとシリーズに基づいて、購買オーダー (tdpur4100m900) セッションで直送購買オーダーが生成されます。購買オーダーを承認する必要があります。

ステップ 4: サービスオーダーの発行

サービスオーダーの発行 (tssoc2200m000) セッションでサービスオーダーを発行します。サービスオーダーの状況が [発行済] になる前に、直送購買オーダーを受領することはできません。

ステップ 5: 直送オーダーの受領

事前出荷通知を使用している場合、出荷通知 (whinh3100m000) セッションで [直送ラインの受領] をクリックすると、直送サービスオーダー用に購買された品目の入庫が購買入庫 (tdpur4106m000) セッションに挿入されます。事前出荷通知を使用していない場合は、直送サービスオーダーに対応する入庫を購買入庫 (tdpur4106m000) セッションでマニュアルで指定する必要があります。

次の状態になる前は、購買入庫 (tdpur4106m000) セッションで入庫を確認することはできません。

- リンクされているオブジェクトの状況が [発行済] である
- ロットおよびシリアルを登録する場合は、ロットとシリアルセットが完了する

ステップ 6: サービスへの納入の送信

納入情報を含む販売/サービスオーダーの更新 (tdpur4222m000) セッションを実行して、最終入庫のために品目、数量、ロット、およびシリアル情報をサービスに通知します。

ステップ 7: サービスオーダーの完了

サービスオーダーのすべての商品が入庫し、すべての活動が完了すると、サービスオーダーの状況を [完了] に変更できます。

ステップ 8: 販売先取引先への請求書の送付

調達で入庫が記帳され、納入情報を含む販売/サービスオーダーの更新 (tdpur4222m000) セッションを使用してサービスに送信されると、状況が [原価計算済] である場合、サービスオーダーを請求できます。サービスオーダーの原価計算 (tssoc2290m000) セッションで、サービスオーダーの状況を [原価計算済] に設定できます。

ステップ 9: 直送オーダーの処理

購買オーダーは納入済購買オーダーの処理 (tdpur4223m000) セッションで処理し、サービスオーダーはサービスオーダーのクローズ (tssoc2201m000) セッションで処理します。

直送および返品オーダー

販売先取引先のサイトで修理を行うサービスエンジニアが、直送サービスオーダーから入庫したすべての部品を使用しない場合があります。この場合、直送返品オーダーを使用して、未使用の部品を購買元取引先に直接返品するか、自社の倉庫に戻すことができます。

サービスオーダーが [完了] に設定され、サービスオーダー実際材料費 (tssoc2121m000) セッションで [実際数量] が減少されたら、[非消費品目を発注先に直接返品] チェックボックスを使用して、過剰な数量を自社の倉庫に戻すか、購買元取引先に直接返品するかを指定します。

サービスオーダー実際材料費 (tssoc2121m000) セッションで [非消費品目を発注先に直接返品] チェックボックスをオンにして、[返品理由] を指定したため、オーダーの完了時に部品を発注先に返品する必要がある場合、[納入タイプ] フィールドが [発注先直接返品] に設定された別の資材ラインが自動的に生成されます。次に、購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [サービス直送の返品オーダータイプ] フィールドに基づいて、購買オーダー (tdpur4100m900) セッションで直送返品オーダーが自動的に生成されます。

直送および輸送オーダー

輸送を使用して直送を管理および計画する場合、直送輸送オーダーを生成できます。

詳細は、次の情報を参照してください: 直送サービスオーダーについての輸送オーダーの生成 (ページ 39)

直送とバックオーダー

サービスオーダーの状況が [完了] で、オーダーよりも入庫が少ない場合、確認済バックオーダーが自動的に生成されます。購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [バックオーダーを自動確認] チェックボックスの設定は無視されます。

注意

- 入庫が実行されるまでは、サービスでバックオーダー数量、納入日、および納入住所を変更できます。
- 直送バックオーダーの輸送オーダーを生成することもできます。
- 調達では、直送バックオーダーを取り消すことはできません。サービスオーダー実際材料費 (tssoc2121m000) セッションで、[所要量] 数量をゼロに変更する必要があります。
- 調達のみで、直送バックオーダーを削除することができます。この削除はサービスに送信されません。

在庫がない既存の販売オーダーを処理するには、入庫場所から発送確定保管場所に入庫商品をただちに移動させて出庫します。この処理をクロスドッキングと呼びます。

クロスドッキングタイプ

- 静的クロスドッキング
静的クロスドッキングは、倉庫管理でクロスドッキングオーダーまたはオーダーラインをメンテナンスできないことを意味します。
- 静的クロスドッキングの場合、購買オーダーの [計画入庫日] の計算は、販売オーダー (tdsls4100m000) セッションの [計画納期] に、倉庫別品目データ (whwmd2110s000) セッションの [クロスドックリードタイム] を加算して行われます。
- 動的クロスドッキング
動的クロスドッキングを使用すると、次の処理を実行できます。
 - クロスドッキングオーダーとオーダーラインを倉庫管理で作成する
 - 倉庫管理のクロスドッキング処理時にクロスドッキングオーダーとオーダーラインを何度か変更する、または取り消す
 - クロスドッキングオーダーまたはクロスドッキングオーダーラインを倉庫管理で自動的に作成する

このトピックでは、動的クロスドッキングについての詳しい説明は省略します。

クロスドッキング手順

クロスドックオーダーを生成するには、次の操作を実行します。

ステップ 1: クロスドッキング販売オーダーの作成

- [納入タイプ] フィールドは、販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッション、販売オーダー計画納入ライン (tdsls4101m100) セッション、または販売オーダーライン構成要素 (tdsls4163m000) セッションで [クロスドッキング] に設定します。
これらのセッションでは、次のようにして [クロスドッキング] 納入タイプを指定できます。
 - [クロスドッキング]

- 品目が在庫不足のときに表示される在庫不足メニュー (tdsls4830s000) セッションから [クロスドックオーダーの生成] を選択する
- [納入タイプ] フィールドを [倉庫] に設定した販売オーダーラインに、[倉庫] チェックボックスをオンにして販売オーダーの購買オーダー勧告の生成 (tdsls4240m000) セッション実行した後に選択する

販売オーダータイプ (tdsls0594m000) セッションで、該当の販売オーダータイプについて [購買オーダー生成可能] チェックボックスをオンにする必要があります。

ステップ 2: 購買オーダー勧告の作成

販売オーダーラインが承認された後に、販売オーダーの購買オーダー勧告の生成 (tdsls4240m000) セッションがオーダータイプ (tdsls0694m000) セッションのオーダータイプに活動としてリンクされると、販売オーダーの購買オーダー勧告の生成 (tdsls4240m000) セッションの販売オーダーラインに購買オーダー勧告が生成されます。

このステップは、販売オーダーの購買オーダー勧告の生成 (tdsls4240m000) セッションではなく購買オーダーの生成 (tdsls4241m000) セッションがオーダータイプに活動としてリンクされている場合には該当しません。

ステップ 3: クロスドッキング購買オーダーの作成

購買オーダーは、販売オーダーから生成する必要があります。購買オーダーの生成方法は、販売オーダーラインに購買オーダー勧告がすでに存在しているかどうかによって決まります。

- 購買オーダー勧告がない
購買オーダーの生成 (tdsls4241m000) セッションでクロスドッキングオーダーを生成できます。[クロスドッキング] チェックボックスをオンにし、[購買オーダー] グループボックスのフィールドを指定します。
- 購買オーダー勧告が存在する
生成された購買オーダー勧告を購買オーダーに自動的に変換するには、販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションで [購買勧告を購買オーダーに自動変換] チェックボックスをオンにする必要があります。このチェックボックスがオフの場合、購買オーダー勧告確認 (whina3211m000) セッションおよび購買オーダー勧告転送 (whina3212m000) セッションで、購買オーダー勧告の確認と購買オーダーへの転送をマニュアルで行う必要があります。

ステップ 4: 倉庫管理へのクロスドッキングオーダーの発行

その購買オーダーを倉庫管理へ購買オーダーを発行 (tdpur4246m000) セッションで倉庫管理に発行します。

販売オーダーを販売オーダーの倉庫管理への発行 (tdsls4246m000) セッションで倉庫管理に発行します。

クロスドッキングオーダーの場合、複数の購買オーダーライン詳細を 1 つの販売オーダーラインにリンクできます。または、複数の販売オーダー計画納入ラインを 1 つの購買オーダーラインにリンクできます。そのため、販売オーダー (納入) ラインに変更を加えると、購買オーダーライン (詳細) とのリンクが解除される可能性があります。

リンクされている販売オーダーラインまたは購買オーダーラインを変更すると、販売オーダーと購買オーダー間のリンクについてメッセージが表示されます。

リンクされている販売オーダーラインまたは購買オーダーラインを取り消すか削除すると、リンクは解除されます。

購買オーダー勧告が存在する販売オーダーラインを取り消すか削除すると、購買オーダー勧告は削除されます。

調達および輸送の統合

輸送パッケージを使用して輸送の要件を処理することができます。調達で商品の輸送を手配する必要があり、結果として発注先から商品を収集する必要がある場合、購買オーダーから輸送オーダーを生成します。発注先は商品の準備を完了しておく必要がある日付を知る必要があります。このため、購買オーダーの計画積荷日は、発注先から商品をピックアップする出荷日として考える必要があります。

輸送オーダー管理と調達の統合

輸送オーダーは、計画時と実行時に状況がよく変化します。輸送オーダーが調達から作成される場合、出荷と積荷の進捗状況が交換可能になり、輸送オーダー管理と調達間で情報の共有が可能になります。

詳細は、次の情報を参照してください: 輸送オーダー管理と調達の統合 (ページ 34)

輸送請求と購買請求間の統合

運送業者に支払わなければならない輸送レートは、輸送費と呼びます。取引先への輸送費の請求は、次の項目に基づいて実行できます。

- [輸送費]
- [輸送費 (更新可能)]
- [クライアントレート]

詳細は、次の情報を参照してください: 輸送請求と購買請求の統合 (ページ 35)

輸入仕入原価と輸送の統合

見積輸送原価または実際の輸送原価を、輸入仕入原価として、輸送オーダーが生成された、または生成される購買オーダーにリンクできます。

詳細は、次の情報を参照してください: 輸入仕入原価 – 輸送オーダー

輸送オーダー管理と調達の統合

独自の輸送計画の実施を望む会社の場合、輸送オーダー管理と調達の統合を使用して、購買オーダーから輸送オーダーを生成できます。

輸送オーダーは、マニュアルで作成された購買オーダー、LN によって生成された購買オーダー、または変換済回答ラインから発生した購買オーダーから生成できます。

見積依頼回答設定

発生元が変換済回答ラインである購買オーダーから輸送オーダーを生成できるようにするには、また、回答ラインが購買オーダーに変換されるときに必要な輸送関連情報が設定されるようにするには、見積依頼回答 (tdpur1506m000) セッションで次のフィールドを指定します。

- [購買から輸送オーダーを生成] チェックボックスをオンにします。
- 輸送オーダーで購買オーダーと同じサービスレベルを使用する場合は、[輸送サービスレベル] フィールドにサービスレベルを入力します。
- 輸送オーダーで購買オーダーと同じ運送業者を使用する場合は、[運送業者指定] チェックボックスをオンにします。
- 積荷降日として指定する日付を [計画入庫日] フィールドに入力します。

注意

輸送オーダーは購買オーダーからのみ生成できます。

購買オーダー設定

購買オーダーから輸送オーダーを生成できるようにするには、購買オーダーライン (tdpur4101m000) セッションまたは購買オーダーライン詳細 (tdpur4101m200) セッションで次の設定を適用する必要があります。

- [購買から輸送オーダーを生成] チェックボックスをオンにします。
- 輸送オーダーで、購買オーダーと同じ運送業者を使用する場合は、[運送業者指定] チェックボックスをオンにします。
- 輸送オーダーで、購買オーダーと同じサービスレベルを使用する場合は、[輸送サービスレベル] フィールドにサービスレベルを入力します。
- [計画入庫日] フィールドに日付を入力します。購買側の会社で輸送の責任がある場合は、この日付を積荷降日、つまり倉庫で商品が利用可能でなければならない日付とみなす必要があります。
- 計画積荷日を [計画積込日] フィールドに入力します。購買側の会社で輸送の責任がある場合、発注先がサイトで商品の準備を完了していなければならない日付です。この日付は、出荷日と見なされることがあります。

購買オーダーからの輸送オーダーの生成

品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションの [購買から輸送オーダーを生成] チェックボックスがオンで、品目 - 購買取引先の組合せの購買オーダーが生成された場合、承認後に、輸送オーダーの生成 (tdpur4220m000) が活動として購買オーダータイプ - 活動 (tdpur0560m000) セッションのオーダータイプにリンクされ、輸送オーダー生成方法が決定されるかどうか確認されます。購買オーダーに輸送オーダーをマニュアルまたは自動で生成できます。

輸送オーダーが購買オーダー(詳細)ラインから生成された後、輸送オーダーの状況は[予想]になります。輸送オーダーに渡される情報は出荷関連のデータのみで、計画日、住所、出荷規則、運送業者、経路、受渡条件、計画責任などがあります。輸送オーダーに積荷計画が作成されると、輸送オーダーの状況は[計画]になります。積荷計画は、輸送のみで「実際」に変更できます。購買オーダー(詳細)ラインが倉庫管理に発行された後に、輸送オーダーの状況は[実際]に変更できます。

輸送オーダーの状況が[計画]である場合、購買オーダーライン (tdpur4101m000) セッションまたは購買オーダーライン詳細 (tdpur4101m200) セッションの適切なメニューで、次のフィールドをクリックします。

- 輸送オーダーライン状況概要 (fmfoc2601m000) セッションの、出荷と積荷に関する情報、使用する運送業者、出荷が実行される日付、出荷数量などの輸送詳細を表示する [輸送詳細]
- リンクされている購買オーダーライン - リンク情報 (tdpur4502s000) セッションの輸送オーダーを表示する [購買オーダーライン - リンク情報]

注意

購買オーダーおよびリンクされている輸送オーダーの修正、ブロック、削除、または取消を行う場合、輸送オーダーの状況は、[予想]、[計画]、または[実際]である必要があります。

購買オーダー(詳細)ラインに[計画入庫日]を指定すると、輸送リードタイムが商品を予定どおりに納入する上で充分であるかが輸送によって判定されます。間に合わない場合、ユーザは[計画入庫日]を変更するか別の運送業者を選択する必要があります。輸送のタイプや運送業者の利用可能性が原因で、[計画入庫日]が購買オーダー(詳細)ラインに指定した日付と異なることがあります。購買オーダー (tdpur4100m000) で出力、[出荷日の差異の出力 (FMのダミー)] の順にクリックして出荷日から偏差のあるオーダーの出力 (fmlbd3450m000) セッションを開始できます。このセッションでは、発生元の日付が、輸送の積荷計画の日付と異なるすべてのオーダーを示す差異のレポートを生成できます。

輸送請求と購買請求の統合

商品の輸送責任が購買側の会社があり、この会社が商品を輸送する運送業者を雇う場合、輸送後に運送業者は購買側の会社に請求書を送付します。会社が運送業者に支払わなければならない輸送レートは、輸送費と呼ばれます。

マスタデータ

輸送について外部の取引先に請求するには、次のマスタデータを指定します。

- 購買元の取引先 (tccom4120s000) セッションで、[輸送に対する請求取引先] チェックボックスをオンにして、運送費の支払を求める取引先を指示します。
- 請求先取引先 (tccom4112s000) セッションで、[輸送請求基準] フィールドを次のように定義します。
 - [輸送費]
出荷または積荷の輸送費を現在利用可能な最善の情報に基づいて決定する場合に指定します。輸送請求額は、価格設定の運送業者レート帳簿に基づいて決定されます。この費用は、見積輸送費とも呼びます。

- [輸送費 (更新可能)]
運送業者の請求を特定の積荷または出荷と照合してから輸送費を請求する場合に指定します。基本的に、輸送請求額は、価格設定の運送業者レート帳簿に基づいて決定されます。これらの費用は、実際輸送費とも呼びます。
- [クライアントレート]
価格設定のクライアントレート帳簿に基づいて輸送請求額を決定する場合に指定します。このレート帳簿は、特定の取引先についての輸送サービスレートを保存します。
- [輸送請求基準] フィールドが [輸送費] または [輸送費 (更新可能)] である場合と、原価加算金額または原価加算率を請求書に追加する場合、請求先取引先 (tccom4112s000) セッションの次のフィールドを指定します。
 - [追加の割合]
輸送請求額を増加させる割合
 - [追加金額]
輸送請求額を増加させる金額

注意

これらのマスタデータのフィールドは、購買オーダー (tdpur4100m000) セッションおよび見積依頼入札者 (tdpur1505m000) セッションの同じフィールドのデフォルトとして使用されますが、それぞれのセッションで上書きできます。

請求方法

会社は、次の費用をもとに外部の取引先に輸送レートを請求できます。

- [輸送費]
- [輸送費 (更新可能)]
- [クライアントレート]

輸送費

輸送は、現在利用可能な最善の情報に基づいて輸送請求額を計算します (見積輸送費)。これらの輸送費は価格設定の運送業者レート帳簿から取得され、出荷/積荷に変更が加えられるたびに更新されます。輸送は輸送請求を請求に発行します。

輸送費 (更新許可)

輸送は、輸送のすべての積荷に基づいて輸送費額を購買オーダー (見積輸送費) に配分します。輸送が、見積輸送費をもとに輸送請求書を請求に発行する場合、実際費用を運送業者から受領する前に請求書が送信されます。この場合、価格設定に保存されている運送業者レート帳簿に基づいて、先に見積輸送費が決定されます。その後、運送業者の請求書が受領され、買掛金と照合されると、実際原価が指定可能になります。これにより、見積費用と実際原価の差異を取引先に請求できます。

注意

取引先に差異を請求する場合、追加の請求書を生成できます。請求書は、輸送請求パラメータ (fmfri0100m000) セッションの [金額が右記値より大きい場合] フィールドまたは [右記値より大きい場合] フィールドに指定したデータに基づきます。

クライアントレート

請求方法が [クライアントレート] の場合、請求額は、輸送レートに関する確定した顧客との合意に基づきます。このため、運送業者に支払わなければならない輸送費を補てんするために、顧客に請求できます。

直送販売オーダーに関する輸送オーダー

直送販売オーダーについての輸送オーダーの生成

販売オーダーまたは販売見積上で、販売される商品を直送するかどうかを指定できます。販売オーダーにリンクされた購買オーダーを使用して、購買元取引先は商品を販売先取引先に直接納入します。直送の場合、商品は自社の倉庫を経由しません。

直送を管理および計画するには、輸送を使用します。

直送オーダー

直送用の輸送オーダーを生成する場合、次の条件が適用されます。

- 輸送オーダーは、販売オーダーではなく購買オーダーから生成する必要があります。そのため、販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションで [納入タイプ] フィールドが [直送] の場合、次の処理が行われます。
 - 輸送オーダーの生成 (tdsls4222m000) の活動が販売オーダーにリンクしなくなります。
 - [販売から輸送オーダーを生成] チェックボックスが、[購買から輸送オーダーを生成] チェックボックスという名前に変更されます。このチェックボックスをオンにする必要があるかどうかは、品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションの [購買から輸送オーダーを生成] チェックボックスによって決まります。
- 輸送オーダーの生成後に販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションの [納入タイプ] フィールドが [直送] に設定されると、輸送オーダーは削除されます。
- 販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションの [輸送費請求] チェックボックスまたは購買オーダー (tdpur4100m000) セッションの [外部取引先に請求] チェックボックスをオンにできます。両方のチェックボックスをオンにすることはできません。
- [運送業者/LSP]、[経路]、[輸送サービスレベル] など、販売オーダーのフィールドが優先されます。そのため、これらのフィールドは、購買オーダーではなく販売オーダーで指定する必要があります。購買オーダーのデータは使用不可になります。
- 直送の輸送請求金額を計算するには、販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションで [輸送費額] をクリックします。この計算には、該当の購買元取引先にリンクしている購買オフィスが使用されます。計算された輸送請求金額は、販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションの [輸送費額] フィールドに表示されます。

注意

販売オーダーラインに [計画済納期] を入力すると、商品を予定どおりに納入できる輸送リードタイムであるかどうか判定されます。輸送時間を計算するために、出荷元取引先の出荷元住所および出荷先取引先の出荷先住所が使用されます。商品が予定どおりに納入されきない場合は、[計画入庫日] を変更するか、オーダーラインで別の運送業者を選択する必要があります。

輸送オーダーが直送オーダーにリンクしている場合、日付フィールドの名前はモジュールごとに異なります。次の表を参照してください。

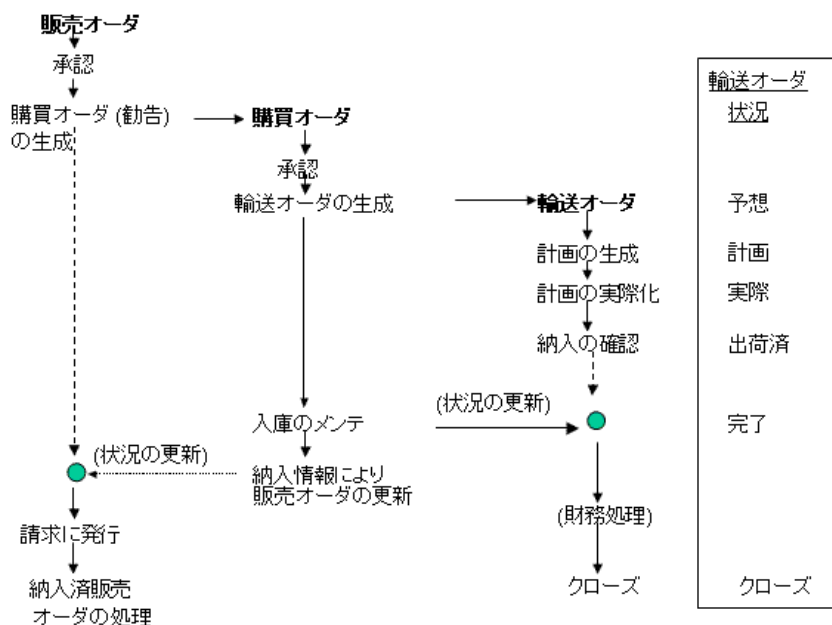
-	販売	購買	輸送	ASN
発注先から商品が 出荷された時点	計画納期	積荷日	積荷日	出荷日付
販売先取引先で商 品が入庫された時 点	計画入庫日	計画入庫日	積荷降日	計画納期

輸送オーダー

- 販売オーダーに直送購買オーダーを生成した後、輸送オーダーの生成 (tdpur4220m000) セッションでは直送オーダーに輸送オーダーを生成できます。直送販売オーダーの作成の詳細は、直送販売オーダー (ページ 23)を参照してください。
- 輸送オーダーには、購買オーダー番号および販売オーダー番号が表示されます。
- 輸送オーダーが生成されるときに、その輸送オーダーはリンクオーダーラインデータ (tdsls4102s200) セッションの販売オーダーラインおよび購買オーダーライン - リンク情報 (tdpur4502s000) セッションの購買オーダーラインにリンクします。
- 購買入庫 (tdpur4106m000) セッションで購買オーダーを受領するとき、輸送費の計算に使用される運送業者など、このセッションの輸送に関連するフィールドに値を指定する必要があります。最終入庫の後で、納入情報を含む販売/サービスオーダーの更新 (tdpur4222m000) セッションを使用して直送の情報を販売オーダーに送信する必要があります。

手順

輸送オーダーにリンクしている直送オーダーの手順を次の図に示します。



注意

直送購買オーダーの処理方法によって、次の結果になります。

- 直送購買オーダーが販売により更新された場合、リンクされた輸送オーダーが削除されます。必要な場合は、新しい輸送オーダーを生成する必要があります。
- 直送購買オーダーが調達で削除された場合、リンクされた輸送オーダーも削除されます。
- 直送購買オーダーが販売により取り消された場合、リンクされた輸送オーダーが削除されます。

直送サービスオーダーについての輸送オーダーの生成

サービスオーダー上で、販売される商品を直送するかどうかを指定できます。サービスオーダーにリンクされた購買オーダーを使用して、購買元取引先は商品を販売先取引先に直接納入します。直送の場合、商品は自社の倉庫を経由しません。

直送を管理および計画するには、輸送を使用します。

直送オーダー

直送用の輸送オーダーを生成する場合、次の条件が適用されます。

- 購買オーダーから輸送オーダーを生成する必要がありますが、サービスオーダーフィールドが優先されます。このため、サービスオーダー見積材料費 (tssoc2120m000) セッションの [輸送]

タブで、サービスオーダーに輸送情報を指定する必要があります。購買オーダーのデータは無効になります。

- 出荷オフィスマトリックスを使用して、輸送オーダーの処理を担当する出荷オフィスを決定する必要があります。詳細は、次の情報を参照してください: 出荷オフィスマトリックス
- サービスオーダー見積材料費 (tssoc2120m000) セッションの [輸送の請求] フィールドにより、購買オーダー (tdpur4100m000) セッションの [外部取引先に請求] チェックボックスの値が決まります。

このフィールドの値に応じて、次のように設定されます。

- [適用なし] の場合、[外部取引先に請求] はオンになります。
- [サービス] または [輸送管理] の場合、[外部取引先に請求] はオフになります。
- 直送の輸送請求金額を計算するには、サービスオーダー見積材料費 (tssoc2120m000) セッションで [輸送額] をクリックします。この計算には、該当の購買元取引先にリンクしている購買オフィスが使用されます。計算された輸送請求金額は、サービスオーダー見積材料費 (tssoc2120m000) セッションの [輸送額] フィールドに表示されます。

注意

見積材料費ラインに [計画納入時間] を入力すると、商品を予定どおりに納入できる輸送リードタイムであるかどうかが判定されます。輸送時間を計算するために、出荷元取引先の出荷元住所および出荷先取引先の出荷先住所が使用されます。商品を予定どおりに納入できない場合、見積材料費ラインの [計画入庫時間] を変更するか、別の運送業者を選択する必要があります。

輸送オーダーが直送オーダーにリンクしている場合、日付フィールドの名前はモジュールごとに異なります。次のテーブルを参照してください。

-	サービス	購買	輸送	ASN
発注先から商品が 出荷された時点	計画納入時間	積荷日	積荷日	出荷日付
販売先取引先で商 品が入庫された時 点	計画入庫時間	計画入庫日	積荷降日	計画納期

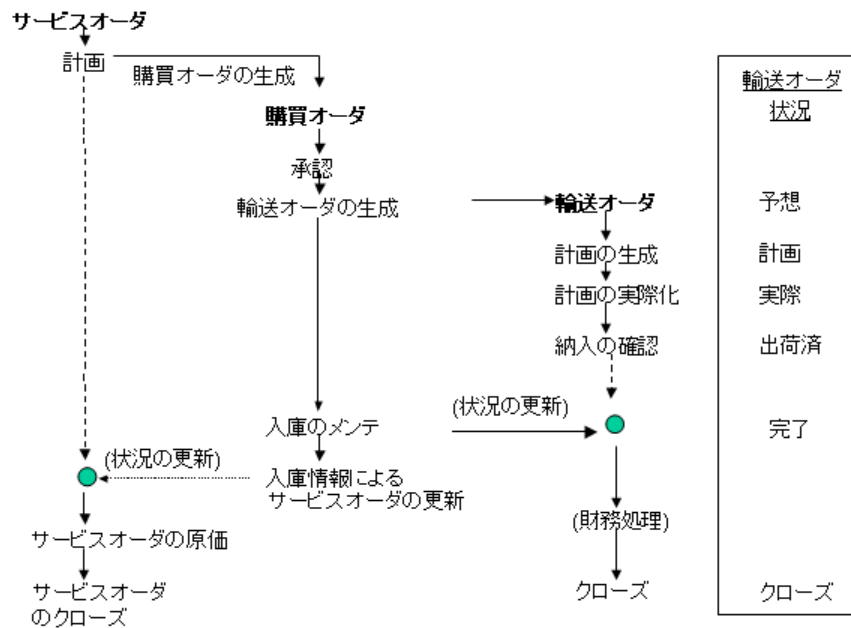
輸送オーダー

- サービスオーダーの直送購買オーダーを生成した後、輸送オーダーの生成 (tdpur4220m000) セッションでは直送オーダーの輸送オーダーを生成できます。直送サービスオーダーの作成の詳細は、直送サービスオーダー (ページ 25) を参照してください。
- 輸送オーダーには、購買オーダー番号およびサービスオーダー番号が表示されます。
- 輸送オーダーは、生成されると、関連オーダー (tsmdm4500m000) セッションのサービスオーダーラインおよび購買オーダーライン - リンク情報 (tdpur4502s000) セッションの購買オーダーラインにリンクします。
- 購買入庫 (tdpur4106m000) セッションで購買オーダーを受領するとき、このセッションの輸送に関連するフィールドに値を入力する必要があります。たとえば、運送業者が指定されていない場合、輸送費の計算に使用される運送業者を入力する必要があります。最終入

庫の後で、納入情報を含む販売/サービスオーダーの更新 (tdpur4222m000) セッションを使用して直送の情報をサービスオーダーに送信する必要があります。

手順

輸送オーダーにリンクしている直送サービスオーダーの手順を次の図に示します。



注意

直送購買オーダーの処理方法によって、次の結果になります。

- 直送購買オーダーがサービスにより更新された場合、リンクされた輸送オーダーが削除されます。必要な場合は、新しい輸送オーダーを生成する必要があります。
- 直送購買オーダーが調達で削除された場合、リンクされた輸送オーダーも削除されます。
- 直送購買オーダーがサービスにより取り消された場合、リンクされた輸送オーダーが削除されます。

調達とサービスの統合

デポ修理とフィールドサービスを使用して、部品のメンテナンス、修理、またはアップグレードを行うことができます。統合は、サービスと調達の間で利用可能で、修理部品を購入したり、メンテナンス、修理、またはアップグレードを外注したりできます。

次のデポ修理プロセスおよびフィールドサービスプロセスがサポートされています。

- 追加部品の購入
- 外注活動の購入

追加部品の購入

社内で修理やアップグレードを実行する組織が、必要な部品をすべては用意されていない場合、サードパーティから追加部品を入手する必要がある場合があります。作業オーダー (デポ修理) またはサービスオーダー (フィールドサービス) から購買オーダーを生成してこれらの部品を購入できます。

メンテナンス販売管理パラメータ (tsmsc0100m000) セッション、作業オーダーパラメータ (tswcs0100m000) セッションまたはその両方や、サービスオーダーパラメータ (tssoc0100m000) セッションの [必要な在庫約定] チェックボックスがオンの場合、購買オーダーで受領する追加部品は、確約済にすることができます。商品が、他のオーダーではなく、この購買オーダーを作成した作業オーダーまたはサービスオーダーでのみ使用できるようにするためです。これを、作業オーダーまたはサービスオーダーの商品の在庫約定と呼びます。追加の品目を含む購買オーダーは、倉庫管理に発行する必要があります。これにより、調達から、オーダー発生元、作業オーダーまたはサービスオーダー、作業オーダーラインまたはサービスオーダーライン、所要数量が倉庫管理に渡されます。倉庫管理では、入庫が確約されます。倉庫管理は、オーダーの所要数量が確約されるまで入庫数量を確認します。

詳細は、次の情報を参照してください: 追加部品の購入 (ページ 44)

外注活動の購入

修理またはアップグレード担当の組織が、別の会社にメンテナンス、修理、またはアップグレードを委託する (外注) 場合、サービスで作業オーダー活動やサービスオーダー活動を指定し、そこから調達で購買要求または購買オーダーを生成することができます。デポ修理とフィールドサービスの両方のために、資材を外注先に送信することができます。デポ修理のために、メンテナンスされる品目を送信することもできます。

詳細は、次の情報を参照してください: 調達におけるサービス外注 (ページ 45)

追加部品の購入

社内で修理やアップグレードを実行する部署で、必要な部品のすべてが用意されておらず、サードパーティから追加部品を入手する必要がある場合、購買オーダーを作業オーダー (デポ修理) または サービスオーダー (フィールドサービス) から生成してこれらの部品を購入できます。

ステップ 1: 作業オーダーまたはサービスオーダーの作成

1. 作業オーダー (tswcs2100m100) セッションまたはサービスオーダー (tssoc2100m100) セッションで、追加部品が必要な品目を指定します。
2. 次のいずれかのセッションを実行します。
 - a. 作業オーダー
作業オーダー (tswcs2100m100) セッションの適切なメニューで [物的資源] をクリックし、必要な追加部品を作業オーダー物的資源 (tswcs4110m000) セッションの作業オーダー活動に追加します。
 - b. サービスオーダー
サービスオーダー (tssoc2100m100) セッションの [資材] タブで、サービスオーダー材料費 (tssoc2122m000) セッションを参照して、必要な追加部品をサービスオーダーに追加します。
3. 品目を指定し、調達から作業オーダーまたはサービスオーダーに資材を納入することを確定するために、[納入タイプ] フィールドで [購入] (作業オーダー)、または [購買オーダー使用] や [現地調達] (サービスオーダー) を選択します。

作業オーダーまたはサービスオーダーの活動も指定できます。

作業オーダーヘッダまたはサービスオーダーヘッダを作成したら、次の手順を実行します。

1. 作業オーダー (tswcs2100m100) セッションまたはサービスオーダー (tssoc2100m100) セッションの [活動] タブで活動を指定します。
2. 作業オーダー活動 (tswcs2610m000) セッションまたはサービスオーダー活動 (tssoc2110m100) セッションの関連するタブで、物的資源を作業オーダー活動に追加するか、資材をサービスオーダー活動に追加します。
3. 作業オーダー物的資源 (tswcs4110m000) セッションまたはサービスオーダー材料費 (tssoc2122m000) セッションで、品目を指定し、[納入タイプ] フィールドで [購入] (作業オーダー) または [購買オーダー使用] / [現地調達] (サービスオーダー) を選択します。

作業オーダーまたはサービスオーダーの [最早開始時間] フィールドまたは [計画開始時間] フィールドに指定する日付は、購買オーダーで 計画納期 として表示されます。

ステップ 2: 作業オーダーの計画

- 作業オーダー
作業オーダーの計画および発行 (tswcs3200m000) セッションで作業オーダーを計画し、購買オーダーを生成します。作業オーダーが正常に計画されると、作業オーダーの状況は [計画済] になり、購買オーダーが [メンテナンス] のオーダータイプで生成されます。これは、購買オーダー (tdpur4100m000) セッションの [発生元] フィールドで表示できます。
- サービスオーダー
サービスオーダー資源計画 (tssoc2260m000) セッションでサービスオーダーを計画し、購買オーダーを生成します。サービスオーダーが正常に計画されると、作業オーダーの状況は [計画

済] になり、購買オーダーが [サービス] のオーダータイプで生成されます。これは、購買オーダー (tdpur4100m000) セッションの [発生元] フィールドで表示できます。

購買オーダーライン (tdpur4101m000) セッションの適切なメニューで、[購買オーダーライン - リンク情報] をクリックして購買オーダーライン - リンク情報 (tdpur4502s000) セッションのオリジナルのメンテナンス作業オーダーまたはサービスオーダーを表示します。

ステップ 3: 作業オーダーまたはサービスオーダーの在庫の確約

追加部品の入庫は、倉庫管理で実行されます。

メンテナンス販売管理パラメータ (tsmsc0100m000) セッション、作業オーダーパラメータ (tswcs0100m000) セッション、またはサービスオーダーパラメータ (ts soc0100m000) セッションの [必要な在庫約定] チェックボックスがオンの場合、購買オーダーで受領する追加部品を確約済にすることができます。これが必要な場合は、購買入庫は自動的に倉庫管理の作業オーダーまたはサービスオーダーの在庫約定となります。倉庫管理はオーダーの合計所要数量が確約されるまで、入庫数量を確約します。

購買オーダーライン (tdpur4101m000) セッションの次のフィールドでは、商品の確約に関する情報を確認できます。

- [引当済在庫]
- [約定引当在庫]

調達におけるサービス外注

サービス外注機能により、購買要求、見積依頼 (RFQ)、および購買オーダーに、外注品目を含めることができます。

サービス外注は資材フローの有無に関係なくサポートされます。デポ修理またはフィールドサービスから外注サービス活動を購買するとき、資材を外注先に供給できます。デポ修理の場合、メンテナンスされる完全な品目 (部分組立品) も外注先に供給できます。

マスタデータ

サービスから外注購買伝票を生成するには、マスタデータを指定する必要があります。

詳細は、次の情報を参照してください: 資材フローでサービス外注のデータ設定 (デポ修理)

サービスからの購買伝票の生成

外注品目が含まれる購買要求および購買オーダーはサービスから生成されます。デポ修理の場合は作業オーダー活動から、フィールドサービスの場合はサービスオーダー活動から生成されます。

- デポ修理
作業オーダー活動の [活動状況] が作業オーダー (tswcs2100m100) セッションで [発行済] に変わると、購買要求または購買オーダーが [メンテナンス] を発生元として生成されます。
購買要求または購買オーダーには、原価やサービス品目、または購買品目や製造品目を含むことができます。

参照活動 (tsacm1101m000) セッションの [外注への品目の供給] チェックボックスがオンの場合、(購買または製造) 品目を外注先に供給する必要があります。

参照活動 (tsacm1101m000) セッションの [外注への材料の供給] チェックボックスが品目に対しオンになっている場合、その品目の資材を外注先に供給する必要があります。

供給された品目および資材は、購買オーダー資材供給ライン (tdpur4116m000) セッションで表示できます。

- フィールドサービス

サービスオーダー (tsoc2100m100) セッションのサービスオーダー活動の [活動状況] が [計画済] に変わると、購買要求または購買オーダーが [サービス] を発生元として生成されます。

購買要求または購買オーダーには、原価品目またはサービス品目が必ず含まれます。

参照活動 (tsacm1101m000) セッションの [外注への材料の供給] チェックボックスが品目に対しオンになっていると、その品目の資材も外注先に供給することができます。それらの資材は、購買オーダー資材供給ライン (tdpur4116m000) セッションで表示できます。

購買要求

ステップ 1: 外注要求の生成

購買要求は作業オーダー活動またはサービスオーダー活動から生成できます。

外注要求ラインの場合

- 購買要求ライン (tdpur2502m000) セッションで [外注] チェックボックスがオンになっている
- 作業オーダー、サービスオーダー、参照活動、および資材供給情報が表示され、リンク要求ラインデータ (tdpur2502s000) セッションを使用して詳細にアクセスできます。

ステップ 2: 外注要求の承認

購買要求パラメータ (tdpur0100m200) セッションで [生成済要求の自動提出] チェックボックスをオンにすると、生成された購買要求が承認のために提出されます。注意: このチェックボックスをオンにした場合、購買要求を承認前に更新することはできません。更新できるのは、承認者が要求を拒否した場合だけです。

詳細は、次の情報を参照してください: 購買要求承認プロセス

ステップ 3: 外注要求の変換

購買要求の変換 (tdpur2201m000) セッションで、承認された外注要求を購買オーダーまたは見積依頼に変換できます。

次の内容が適用されます。

- 外注品目に適した購買元取引先および価格を取得した場合、要求を購買オーダーに変換できます。
- 適切な購買元取引先または価格を取得できないか、価格を交渉する必要がある場合は、要求を見積依頼に変換できます。

外注要求の見積依頼を生成する場合、見積依頼が購買オーダーに変換される前に要求を削除することはできません。

詳細は、次の情報を参照してください: 購買要求変換プロセス

見積依頼 (RFQ)

外注品目を含む要求が見積依頼に変換された後、生成される見積依頼の発生元は [要求] に設定されます。

外注見積依頼ラインの場合

- 見積依頼ライン (tdpur1502m000) セッションおよび見積依頼回答 (tdpur1506m000) セッションで [外注] チェックボックスがオンになっている
- 作業オーダー、サービスオーダー、参照活動、および資材供給情報が表示され、リンク見積依頼データ (tdpur1502s000) セッションを使用して詳細を表示できます。

生成される見積依頼を見積依頼の変換 (tdpur1202m000) で購買オーダーに変換する必要があります。

発生元が [要求] である見積依頼ラインは、変換前に削除することはできません。1 つのラインに複数の代替ラインを利用できる場合、代替ラインは削除することができます。ただし、最初の代替ライン (代替ライン 0) は残しておく必要があります。

購買オーダー

外注品目が含まれる購買オーダーラインは、サービスまたは変換された要求や見積依頼から生成できます。

外注購買オーダーラインの場合

- 購買オーダーライン (tdpur4101m000) セッションで [外注] チェックボックスがオンになっている
- 作業オーダー、サービスオーダー、および参照活動は購買オーダーライン - リンク情報 (tdpur4502s000) セッションに表示されます。
- 資材供給情報は購買オーダー資材供給ライン (tdpur4116m000) セッションに表示され、ここから供給オーダーを生成することもできます。倉庫移動オーダーまたは販売転送オーダーを生成して、資材を構成要素倉庫 (供給元倉庫) から外注先の倉庫である管理倉庫 (供給先倉庫) に転送する必要があります。
- 修理される品目 (部分組立品) にシリアル番号が付けられる場合、正しいシリアル番号が付いている品目は、送信して外注先で入庫できます。これにより、購買オーダーラインと資材供給ラインにロットおよびシリアル情報が含まれます。
- 部分組立品は顧客が所有できます。結果として、購買オーダーラインおよび資材供給ラインは顧客が所有する品目の送信および入庫をサポートします。

購買オーダーの生成後、リンクされているサービスオーダーまたは作業オーダーの購買オーダー番号および購買元取引先が更新されます。

入庫と消費

タイプが [原価] または [サービス] の外注品目の場合、入庫を調達または倉庫管理で処理できます。これは、品目 - 購買 (tdipu0101m000) セッションの [倉庫に発行] チェックボックスにより決まります。

調達または倉庫管理から、品目の入庫に関するサービスへのトリガが生成されます。

入庫情報に基づき、サービスによって在庫から資材が発行され、資材供給ラインの消費済数量が更新されます。

サービス外注価格

要求がサービスから生成され、品目 - 購買 (tdipu0101m000) セッションの [価格基準] フィールドが [参照活動] に設定されると、サービスの購買価格が要求ラインにデフォルト設定されます。要求が購買オーダーに変換された後に、この購買価格はオーダーラインにもデフォルト設定され、値引は取得されません。

[価格基準] フィールドが [価格帳/契約] に設定されている場合は、価格データが要求ラインにデフォルト設定されることはありません。要求が購買オーダーに変換されるときに、価格設定情報の取得に利用される一般検索ロジックに基づいて、購買オーダーラインの購買価格と値引が取得されます。

見積依頼の場合、要求ライン価格は [目標価格] として見積依頼ライン (tdpur1502m000) セッションにデフォルト設定されます。要求 (価格ありまたはなし) が見積依頼に変換された後に、要求ラインは、見積依頼回答で入札者が指定した価格と値引で上書きされます。

購買バックオーダー

購買オーダー (詳細) ラインの最終入庫が行われたが、一部しか、またはまったく商品が入庫されていない場合は、バックオーダーが作成されます。

注意

購買バックオーダーを生成するには、事前に、購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [バックオーダーの使用] チェックボックスをオンにしておく必要があります。

バックオーダーは自動的に、またはマニュアルで確認できます。購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [バックオーダーを自動確認] チェックボックスで指定できます。

入庫が最終入庫の場合、以下がバックオーダーになります。

- 入庫日の時点で、購買オーダーラインの入庫数量がオーダー数量より少ない
- 商品の入庫数量 (一部) が検査中に不合格になり、在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションの [発注先に未払] チェックボックスがオフである
- 入庫数量とオーダー数量は等しいが、ユーザがバックオーダー数量をゼロよりも大きな値に変更している

セッション-バックオーダー情報

次の項目を表示できます。

- オーダー数量、入庫数量、不合格数量 (廃棄済および返却済)、不合格品目保管場所の数量、バックオーダー数量、および最新の入庫番号を見込購買バックオーダー (tdpur4101m700)、購買オーダー - 入庫概要 (tdpur4531m000)、購買オーダーライン (tdpur4101m000)、および購買オーダーライン詳細 (tdpur4101m200) セッションで表示できます。
- 購買オーダーの確認バックオーダーは確認済購買バックオーダー (tdpur4101m800) セッションで表示できます。

バックオーダー - 自動確認

購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [バックオーダーを自動確認] チェックボックスをオンにすると、バックオーダーが自動で確認されます。

入庫数量がオーダーより少ない場合

次のものについて入庫された品目は区別されます。

- 通常の購買オーダー
- 直送購買オーダー

注意

通常の購買オーダーの場合、購買オーダータイプ (tdpur0194m000) セッションの [オープンバックオーダーを結合] チェックボックスにより、複数のバックオーダーラインが購買オーダーライン詳細の未決済バックオーダーラインに統合されるかどうかが決まります。

通常の購買オーダー

購買オーダーを入力して倉庫管理に発行すると、その状況は [処理中] になります。購買オーダーが倉庫管理に発行されてから、入庫 (whinh3512m000) セッションで入庫が実行されます。このセッションの [ライン] タブで、入庫済商品の数量を [入庫数量 (入庫単位)] フィールドに入力する必要があります。予測数量が入庫数量を超えており、入庫が最終で確認済の場合は、バックオーダーが生成され、自動的にバックオーダーが確認されます。

バックオーダーが確認されると、[オーダーラインタイプ] が [バックオーダー] の新しい購買オーダーライン (オリジナルラインと位置番号が同じで連番が異なる) が生成されます。このバックオーダーが確認されると、購買バックオーダーラインは自動的に倉庫管理に発行されます。オリジナルの購買オーダーの状況は、[処理中] のままです。入庫が実行されてから、購買オーダータイプの通常の手順が適用されます。

直送購買オーダー

販売オーダーまたはサービスオーダーの直送購買オーダーが生成された場合、納入情報を含む販売/サービスオーダーの更新 (tdpur4222m000) セッションを使用して調達から販売またはサービスに納入を報告できます。

入庫数量がオーダー数量より少ない場合

1. バックオーダーは、販売で、またはサービスから自動的に生成されます。販売でバックオーダーが生成された場合、まずバックオーダー (連番) ラインは、バックオーダーのメンテナンスおよび確認 (tdsls4125m000) セッションでマニュアルで確認する必要があります。または、販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションの [バックオーダーを自動確認] チェックボックスがオンの場合は、自動的にバックオーダーが確認されます。
2. 確認済バックオーダーは、購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [バックオーダーを自動確認] チェックボックスの設定に関係なく、調達で自動的に生成されます。販売オーダーに直送が適用される場合、バックオーダーは、販売のバックオーダーにリンクされます。
3. (直送) バックオーダーが調達で生成されると、購買オーダータイプの通常の手順が適用されます。

入庫数量 (の一部) が不合格になる場合

商品に検査が必要な場合、最初に入庫を入庫 (whinh3512m000) セッションで実行し、次に商品の検査を倉庫検査概要 (whinh3122m000) セッションで実行する必要があります。検査中に商品が不合格になり、在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションの [発注先に未払] チェックボックスがオフの場合、不合格の品目にバックオーダーが作成されます。

注意

在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションで [発注先に未払] チェックボックスがオンの場合、引き続き検査が必要な場合でも入庫後に品目に対して支払を行う必要があります。倉庫管理で、検査中にこれらの品目が不合格になり、[返品不合格品] 購買オーダーを使用して発注先に返品された場合、返品された不合格の商品 に関して発注先に請求する必要があります。倉庫管理は処分品目の不合格について購買オーダーラインに伝えないため、バックオーダーは作成されません。

検査の結果不合格となったバックオーダーラインは自動的に確認済にはならず、常に、見込バックオーダーとなります。この理由は、不合格在庫の処理方法を決定する時間をユーザが持つ必要があるためです。不合格在庫は倉庫の不合格保管場所に格納されますが、再合格させることが可能です。詳細は、次の情報を参照してください: バックオーダー - マニュアル確認 (ページ 51)

バックオーダーの計画在庫処理

バックオーダーが生成されると、計画在庫処理 (whinp1500m000) セッションとオーダー - 計画在庫処理 (whinp1501m000) セッションで計画在庫処理が作成されます。これらのセッションの [計画数量] フィールドの値は、バックオーダーで入庫される予測数量と等しくなります。

バックオーダー - マニュアル確認

購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [バックオーダーを自動確認] チェックボックスがオフの場合、マニュアルで見込バックオーダーを確認する必要があります。

見込バックオーダー

見込バックオーダーは見込購買バックオーダー (tdpur4101m700) セッションに表示されます。このセッションでは、内部調査や外部との交渉に必要なすべての情報を取得できます。LN にはバックオーダー数量がゼロより大きい購買オーダーラインと、バックオーダーが未確認の購買オーダーラインがすべて表示されます。バックオーダー数量、バックオーダーの入庫日など、見込バックオーダー詳細を修正できます。また、見込バックオーダーはこのセッションで確認する必要があります。

注意

確認後、バックオーダーは確認済購買バックオーダー (tdpur4101m800) セッションに移動します。

入庫数量がオーダー数量より少ない場合

購買オーダーを入力して倉庫管理に発行すると、その状況は [処理中] になります。購買オーダーが倉庫管理に発行されてから、入庫 (whinh3512m000) セッションで入庫が実行されます。このセッションの [ライン] タブで、入庫済商品の数量を [入庫数量 (入庫単位)] フィールドに入力する必要があります。予測数量が入庫数量を下回っており、入庫が最終で確認済の場合は、見込購買バックオーダー (tdpur4101m700) セッションで見込みバックオーダーが生成されます。

見込バックオーダーを確認すると、[オーダーラインタイプ] が [バックオーダー] の新しい購買オーダーライン (オリジナルラインと位置番号が同じで連番が異なる) が生成されます。このバックオーダーが承認されると、購買 (バック) オーダーラインは自動的に倉庫管理に発行されます。オリジナルの購買オーダーの状況は、[処理中] のままです。入庫が実行されてから、購買オーダータイプの通常の手順が適用されます。

入庫数量 (の一部) が不合格になる場合

商品に検査が必要な場合、最初に入庫を入庫 (whinh3512m000) セッションで実行し、次に商品の検査を倉庫検査概要 (whinh3122m000) セッションで実行する必要があります。検査中に商品が不合格になり、在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションの [発注先に未払] チェックボックスがオフの場合、不合格の品目にバックオーダーが作成されます。

注意

在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションで [発注先に未払] チェックボックスがオンの場合、引き続き検査が必要な場合でも入庫後に品目に対して支払を行う必要があります。倉庫管理で、検査中にこれらの品目が不合格になり、[返品不合格品] 購買オーダーを使用して発注先に返品された場合、返品された不合格の商品 に関して発注先に請求する必要があります。倉庫管理は処分品目の不合格について購買オーダーラインに伝えないため、バックオーダーは作成されません。

検査の結果不合格となったバックオーダーラインは自動的に確認済にはならず、常に、見込バックオーダーとなります。この理由は、不合格在庫の処理方法を決定する時間をユーザが持つ必要があるためです。不合格在庫は不合格保管場所に格納されますが、再合格させることが可能です。

不合格品目保管場所に存在する不合格数量には、次の処理ができます。

- 返却済
- 廃棄済
- 再合格させる

見込バックオーダーは見込購買バックオーダー (tdpur4101m700) セッションでマニュアルで確認できます。確認は、不合格在庫を不合格保管場所で処理する方法を決定する前、または決定した後に実行できます。ただし、不合格商品 (の一部) が再度合格となった場合は、まず [要確認バックオーダー数量] を状況に適合させてから、見込バックオーダーを確認することができます。

オリジナルの購買オーダーライン (詳細) には、次の処理が適用されます。

- 合計入庫数量が検査され、不合格商品が不合格品目保管場所に存在しなくなった場合、オリジナル購買オーダーライン (詳細) は納入済購買オーダーの処理 (tdpur4223m000) セッションでのみ処理できます。
- 購買オーダーラインモニタ (tdpur4501m500) セッションの [請求状況] フィールドに表示される請求状況は、不合格商品が不合格保管場所に存在しなくなった場合のみ [すべて承認済] に設定できます。不合格商品が残っている場合は、商品を再合格させることが可能ですが、商品の請求はその後で行います。

バックオーダーの計画在庫処理

バックオーダーが生成されると、計画在庫処理 (whinp1500m000) セッションとオーダー - 計画在庫処理 (whinp1501m000) セッションで計画在庫処理が作成されます。これらのセッションの [計画数量] フィールドの値は、バックオーダーが確認されていない場合でも、バックオーダーで入庫される予測数量と同じになります。見込購買バックオーダー (tdpur4101m700) セッションでバックオーダー数量を変更して見込バックオーダーを確認する場合、変更された数量は「計画数量」として記録されます。

例

オーダー数量 = 10

入庫数量	不合格数量	バックオーダー確認	バックオーダー数量	計画在庫処理
7	0	なし	-	3
7	0	あり	3	3
7	2	なし	-	5
7	2	あり	5	5
7	2	あり	3	3

この例の最後のラインの場合、バックオーダー数量は見込購買バックオーダー (tdpur4101m700) セッションでマニュアルで変更されます。

購買返品オーダー

返品オーダーとは、返品出荷がレポートされる購買オーダーです。返品オーダーにはマイナスの金額のみを指定できます。購買返品オーダーを使用して、発注先に在庫単位または不合格商品を返品できます。ほとんどの場合、このような商品は検査中に不合格になります。

返品オーダーマスターデータ

返品オーダーを使用するには:

ステップ 1: 返品オーダーの購買オーダータイプを指定する

購買オーダータイプ (tdpur0694m000) セッションで返品オーダーの購買オーダータイプを指定します。

購買オーダータイプ (tdpur0694m000) セッションの [返品オーダー] フィールドで、次の返品オーダータイプを指定できます。

- [返品在庫] (在庫の返品に使用)
- [返品不合格品] (隔離検査在庫の不合格品目の返品に使用)

[出荷ライン完了] チェックボックスをオンにするには、返品オーダーが [返品不合格品] タイプになっている必要があります。

[直送] チェックボックスをオンにするには、返品オーダーが [返品在庫] タイプになっている必要があります。

ステップ 2: 倉庫オーダータイプを購買オーダータイプにリンクする

購買オーダータイプ (tdpur0694m000) セッションの [購買オーダータイプ] フィールドで倉庫オーダータイプを返品オーダータイプにリンクします。倉庫オーダータイプ (whinh0110m000) セッションで、倉庫オーダータイプの [在庫処理タイプ] を [出庫] に設定します。

入庫商品を検査する場合は、検査手順がリンクされている倉庫オーダータイプを選択します。

購買オーダータイプの [直送] チェックボックスがオンの場合、倉庫オーダータイプを指定することはできません。

ステップ 3: 活動を返品オーダータイプにリンクする

購買オーダータイプ (tdpur0694m000) セッションで、活動をオーダータイプにリンクします。

次の必須活動が返品オーダータイプにリンクされます。

- 倉庫管理へ購買オーダーを発行 (tdpur4246m000)
- 購買入庫 (tdpur4106m000)
- 納入済購買オーダーの処理 (tdpur4223m000)

ステップ4: [返品不合格品]のオーダータイプとシリーズを購買オーダーパラメータにリンクします。

[返品不合格品] 購買オーダーを生成するには、購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [不合格返品 of the オーダータイプ] と [不合格返品 of the オーダーシリーズ] のフィールドで、購買オーダータイプ (tdpur0694m000) セッションで指定したオーダータイプおよびシリーズを選択します。

[返品在庫] 手順

1. 購買オーダー (tdpur4100m000)
購買オーダー (tdpur4100m000) セッションを使用して、次の操作を行います。
 - a. [返品在庫] の購買オーダータイプで購買オーダーヘッダを作成します。
 - b. [オリジナル伝票タイプ] を指定します。
 - c. [オリジナル伝票番号] を指定します。
 - d. 返品オーダーの返品理由を [返品理由] フィールドに指定します。理由タイプを [商品の返品] に設定します。
 - e. 返品オーダーとオリジナル伝票番号の間にリンクを作成した後、適切なメニューの [オリジナル伝票からコピー] をクリックします。セッションが開始され、ラインを返品オーダーにコピーできます。購買オーダーに追加されるラインの数量と金額はそれぞれマイナスです。オプションで、これらのラインを変更できます。また、マニュアルで購買オーダーラインを返品オーダーに追加できます。
2. 倉庫管理へ購買オーダーを発行 (tdpur4246m000)
購買返品オーダーを承認したら、オーダーを倉庫管理に発行します。購買オーダー状況が [処理中] になり、購買オーダーライン状況 (tdpur4534m000) セッションでの活動状況が「出荷待ち」になります。
3. 出庫勧告の生成 (whinh4201m000)
このセッションの [返品オーダーを含む] チェックボックスがオンの場合、返品が必要な数量についての出庫および出荷の勧告が生成されます。
4. 納入済購買オーダーの処理 (tdpur4223m000)
倉庫管理で出荷処理が実行された後も購買オーダー状況は [処理中] ですが、購買オーダーライン状況 (tdpur4534m000) セッションでの活動状況は「購買オーダーを処理」に設定されます。この結果、納入済購買オーダーの処理 (tdpur4223m000) セッションで返品オーダーを処理する必要があります。

ペギング

ペギング在庫の返品には、特定の条件を適用できます。

返品オーダーラインがオリジナル伝票にリンクされている場合、リンクされているペグ配分がデフォルトで使用されます。返品オーダーラインがオリジナル伝票にリンクされていない場合は、返品オーダーラインのペグ配分をマニュアルで指定できます。

デフォルトのペグ配分はマニュアルで更新できます。返品オーダーラインのペグは、オリジナル伝票のペグと異なる場合があります。

2つの購買返品オーダーラインが特定のオリジナルスケジュールライン/スケジュール入庫ラインにリンクされている場合、両方のオーダーラインに、同じ返品オーダー数量およびペグ配分がデフォルト設定されます。そのため、マニュアルで返品オーダー数量を減らし、ペグ配分を更新する必要があります。

[返品不合格品] 手順

購買元取引先や出荷元取引先に生産材料を返品するために、隔離検査在庫処分 (whwmd2172m000) セッションで隔離検査在庫から購買返品オーダーを生成できます。これらのオーダーはオリジナル購買伝票にリンクできますが、これは必須ではありません。

隔離検査在庫を返品するには隔離検査在庫処分 (whwmd2172m000) セッションの [処分] フィールドを [販売業者に返品] に設定します。処分ラインを選択し、隔離検査在庫処分 (whwmd2172m000) セッションの適切なメニューの [処理] をクリックして、購買オーダー (tdpur4100m900) セッションにタイプが [返品不合格品] の購買返品オーダーを生成します。

返品オーダーをオリジナル伝票にリンクできない場合、処分ラインの品目と購買元/出荷元取引先の組み合わせが、購買オーダーの実際データまたは履歴データにあるかどうかを検証されます。ない場合は、警告メッセージが表示されます。

返品オーダーの生成後、生成された返品オーダー番号が隔離検査在庫処分 (whwmd2172m000) セッションの [処分オーダー] タブに表示されます。

(通常の) 出庫手順を開始するには、購買返品オーダーを承認する必要があります。

詳細は、次の情報を参照してください: 隔離検査在庫の処理 - 販売業者に返品

購買オーダーのコピー

購買オーダーのコピー (tdpur4201s000) セッションを使用すると、既存の購買オーダーを新しい購買オーダーにコピーできます。実際のオーダーまたはオーダー履歴からコピーできます。

購買オーダーのグローバル貿易コンプライアンス

導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0100s000) セッションの [グローバル貿易コンプライアンス] チェックボックスおよびグローバル貿易コンプライアンスパラメータ (tcgtc0100m000) セッションの [輸入コンプライアンス] チェックボックスがオンの場合、輸入コンプライアンスが適用される品目の情報を設定できます。

品目がグローバル貿易コンプライアンスの対象となる場合、内部チェックが実行され、輸入コンプライアンス情報が有効であり、必要なライセンスが利用可能であることが確認されます。このチェックは、購買オーダーラインの入力、出荷通知ラインのスケジュール、および入庫ラインの確認を行うときに実行されます。

輸入コンプライアンスについて購買オーダーラインのチェックが終わると、成功および失敗データが記録されます。輸入コンプライアンスチェックが失敗した場合、購買オーダーラインはブロックされます。

輸入コンプライアンスチェックから伝票を除外可能にするには、伝票例外を指定します。たとえば、例外は取引先、国、および伝票タイプ別に指定できます。

購買オーダーライン

購買オーダーラインが購買オーダー - ライン (tdpur4100m900) セッションで指定されると、以下の条件が該当する場合に輸入コンプライアンスチェックが実行されます。

- グローバル貿易コンプライアンスパラメータ (tcgtc0100m000) セッションで [輸入コンプライアンス] タブの [内部チェック] チェックボックスがオンになっている
- オーダータイプが在庫返品、不合格品の返品、または委託支払に使用されていない
- 倉庫が指定されている
- オーダー数量またはオーダー金額がゼロよりも大きい
- 品目 (tcibd0501m000) セッションで該当品目の [貿易コンプライアンスの遵守] チェックボックスがオンになっている

- 出荷元住所の国が入庫住所の国と異なる

これらの条件が該当し、輸入伝票例外 (tcgtc0130m100) セッションで例外が見つからない場合、購買オーダーラインに対して内部コンプライアンスチェックが実行されます。この内部チェックでは、輸入ライセンス (tcgtc0120m100) セッションで有効な輸入ライセンスが利用可能であるかどうかを確認されます。品目輸入コンプライアンスデータ (tcgtc0110m100) セッションで、品目および出荷元国の組合せに関する輸入コンプライアンスデータの利用性および有効性も確認されます。

輸入ライセンス (tcgtc0120m100) セッションで輸入ライセンスの [制限数量の適用] チェックボックスまたは [制限価額の適用] チェックボックスがオンの場合、数量および価額の制限が確認されます。これらのチェックには、購買オーダーラインの棚卸単位でのオーダー数量、およびオーダー通貨での正味オーダーライン金額が使用されます。入庫確認時に、輸入ライセンス消費が輸入ライセンス消費 (tcgtc1520m100) セッションで記録されます。

注意

グローバル貿易コンプライアンスが購買オーダーラインの品目に適用される場合、そのラインの [貿易コンプライアンスの遵守] チェックボックスがオンになります。

構成要素

購買オーダーライン (tdpur4101m000) セッションの [在庫処理] フィールドが [構成要素別] に設定されている場合、構成要素が購買オーダーラインにリンクされます。輸入コンプライアンスチェックは、入庫された構成要素に対してのみ行われ、主品目に対しては行われません。したがって、コンプライアンスチェック結果は構成要素ラインによって記録されます。

構成要素がコンプライアンスチェックに失敗した場合、オーダーラインがブロックされます。いくつかの構成要素がチェックに失敗する場合がありますが、購買オーダー (ライン) ブロック (tdpur4120m000) セッションで生成される購買オーダーラインのブロックレコードは 1 つだけです。構成要素ラインのすべての失敗結果が削除されるまで、オーダーラインのブロックは解除できません。

輸入コンプライアンスチェック

このコンプライアンスチェックは成功または失敗になり、結果は伝票のコンプライアンスチェック結果 (tcgtc1510m000) セッションに表示されます。

チェックが成功の場合、購買オーダー (構成要素) ラインが保存され、オーダー手順を開始できます。コンプライアンスチェック結果は自動的に承認されます。

失敗の場合、ラインが保存され、ブロックされます。したがって、そのラインの [ブロック済] チェックボックスがオンになります。ラインデータは購買オーダー (ライン) ブロック (tdpur4120m000) セッションに表示され、[保留理由] フィールドの値は購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [輸入コンプライアンス保留理由] フィールドから取得されます。ラインをブロック解除するには、必須データを更新し、輸入コンプライアンスチェックを再実行します。または、権限を持つ人が伝票のコンプライアンスチェック結果 (tcgtc1510m000) セッションまたはコンプライアンスチェック結果の上書きワークベンチ (tcgtc1610m100) セッションを使用して、マニュアルで輸出ブロックを上書きすることができます。

注意

いくつかの調達セッションの適切なメニューでは、[輸入コンプライアンスのチェック] オプションを使用して輸入コンプライアンスチェックを強制的に実行できます。

督促状の出力

購買オーダー督促状の出力 (tdpur4403m000) セッションを使用すると、督促状を出力し、未納入の購買オーダーについて取引先に通知できます。

クレームの出力

場合によっては、入庫処理時に入庫した数量が梱包票数量と一致しないことがあります。発注先が、梱包票の数量より少ない数量を実際に出荷した場合、クレームの出力 (tdpur4420m000) セッションでクレーム票を出力できます。

購買請求書の出力

購買オーダー手順のうち、購買請求書の出力 (tdpur4404m000) セッションでの購買請求書の出力はオプションです。この請求書は、システム内のデータと、購買元取引先から受け取ったデータ (請求書) を比較する目的で使します。

購買オーダーの削除

購買オーダーのアーカイブおよび削除 (tdpur4224m000) セッションを使用して、次のものを削除できます。

- 取消済購買オーダーライン
- 処理済購買オーダーライン

注意

オーダーデータを削除する方法は、購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションの [入庫完了時のオーダーデータの削除] フィールドの値によって決まります。

入庫または消費後の価格や値引の変更

購買オーダーの価格や値引は、入庫または消費後に変更できます。

価格変更は、購買オーダーライン、購買オーダー詳細ライン、または購買オーダーバックオーダーラインに適用されます。品目ファイルを価格変更で更新することもできます。この場合、品目 - 購買 (tdipu0101m000) セッションの [購買価格] フィールドが更新されます。以降の品目のオーダーごとに新しい価格が使用されます。

次の条件に該当する場合に、価格や値引を変更できます。

- 購買オーダーが販売またはサービス直送オーダーから発生している場合、販売またはサービスオーダーがまだ更新されていない
- 製造オーダーが購買オーダーにリンクされている場合、製造オーダーの状況が [クローズ] ではない
- 発注先段階的支払が購買オーダーラインにリンクされていない
- 購買オーダーラインが処理済でない
- 購買オーダーラインの支払が次のようになっている
 - [使用払] (請求状況が [すべて承認済] ではない)
 - [貨物引換払] (請求状況が [フリー])

入庫後の価格または値引の変更

入庫後の価格および値引の変更 (tdpur4122m000) セッションでは、入庫済購買オーダーラインの価格または値引を変更できます。

[使用払]

支払タイプが [使用払] で、かつ請求状況が [フリー] の購買オーダーラインの価格または値引を変更した場合、この変更は次のように処理されます。

- 購買オーダーライン (tdpur4101m000)、購買オーダーライン履歴 (tdpur4551m000)、および購買オーダーの請求書情報 (tfacp2540m000) セッションで、オーダー金額、入金額、オーダーライン値引額、およびオーダー値引額を更新する
- 購買入庫 (tdpur4106m000) セッションで入庫を更新する
- 購買実際入庫履歴 (tdpur4556m000) セッションで入庫履歴データを更新する
- 梱包票別オーダー (tfacp2543m000) セッションで請求情報を更新する
- 購買契約データを更新する購買契約パラメータ (tdpur0100m300) セッションの [契約価格と値引を常に使用] チェックボックスにより、契約とのリンクの処理方法が決まる
- 請求元取引先残高 (tccom4523m000) セッションで購買元取引先の未払オーダー残高を更新する

[貨物引換払]

支払タイプが [貨物引換払] の場合、上記に加えて次の更新が実行されます。

- 購買買掛入庫 (tdpur4130m000) セッションで買掛入庫を更新する
- 購買買掛入庫履歴 (tdpur4560m000) セッションで支払入庫履歴レコードを作成する
- 消費別オーダー (tfacp2543m100) セッションで入庫情報を更新する購買オーダーラインの入庫が確認されると、LN が購買の買掛入庫レコードと消費レコードを作成する。
- 統合取引 (tfgld4582m000) セッションで各オーダーラインの価格差異を記録する

注意

支払タイプが [貨物引換払] の場合、購買オーダーラインが入庫されると購買の買掛入庫が作成されます。このため、入庫後に価格または値引変更が挿入された場合、購買の買掛入庫も更新されます。支払タイプが [使用払] の場合、消費が行われるまで購買の買掛入庫は作成されません。

支払タイプが [使用払] の場合、消費は支払期限の日時であり、価格または値引変更は財務取引に影響を与えるため、消費が行われると統合取引 (tfgld4582m000) セッションで財務統合取引が挿入されます。

所有在庫を含む購買オーダーの入庫が (部分的に) 消費され、評価方法が移動平均単位原価 (mauc) の場合、算出された在庫差異は消費されていない部品の在庫で消費されます。このため、消費されている部品は MAUC 値に影響します。

消費後の価格または値引の変更

購買買掛入庫の価格および値引の変更 (tdpur4132m000) セッションと入庫後の価格および値引の変更 (tdpur4122m000) セッションでは、支払タイプが [使用払] の消費済購買オーダーラインの価格または値引を変更できます。

支払タイプが [使用払] で、状況が [フリー] の購買の買掛入庫の価格または値引を変更した場合、この変更は次のように処理されます。

- 買掛入庫
購買買掛入庫 (tdpur4130m000) セッションで買掛入庫を更新する
- 購買買掛入庫履歴 (tdpur4560m000) セッションで支払入庫履歴レコードを作成する
- 消費別オーダー (tfacp2543m100) セッションで消費情報を更新する
- 統合取引
統合取引 (tfgld4582m000) セッションで、買掛入庫の価格差異を記録する
- 契約および取引先残高
購買契約データを更新する購買契約パラメータ (tdpur0100m300) セッションの [契約価格と値引を常に使用] チェックボックスにより、契約とのリンクの処理方法が決まる
- 請求元取引先残高 (tccom4523m000) セッションで購買元取引先の未払オーダー残高を更新する

構成要素

キットの一部として他の品目と組み合わせて請求される販売品目

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

連番

連続した活動のデータレコードやステップを識別する番号。連番は、多くのコンテキストで使用されます。LN では通常、後続の品目やステップに対して連番が生成されます。状況に応じて、この番号を変更することができます。

電子データ交換

電子メールによる取引先との情報交換の方法。情報には、カタログ、販売オーダー、購買オーダーおよび商取引を行うために必要な他のタイプの情報がすべて含まれています。

活動

購買/販売オーダータイプについて実行しなくてはならない手順。活動は、購買/販売オーダータイプについて実行しなくてはならないセッションまたはマニュアルアクションを意味します。

購買請求書

在庫に入庫済、検査済 (必要な場合)、および転記済の購買商品が購買請求書に記載されます。請求書の数量について購買元取引先に支払う必要があります。

購買元取引先、オーダー、品目データ、価格および値引は請求書に出力されます。請求書のデータと購買元取引先から受け取った請求書を比較することができます。

購買オーダー

特定の条件に基づいて、どの品目が購買元取引先から納入されるかを示す契約

購買オーダーには次のものが含まれます。

- 一般的なオーダーデータ、購買元取引先データ、支払条件、および受渡条件を記載したヘッダ
- 実際に納入される品目についての詳しい情報を記載した、1つまたは複数のオーダーライン

統合

異なるソースに由来するいくつかの購買オーダーを、1つの購買オーダーにグループ化すること。統合によって購買オーダーの数が減り、利用可能な最善の価格および値引を得ることができます。

外注

別の関係者から、プロジェクトの一部実行、製造オーダーの作業などの特定のサービスを借用すること

サービス外注

品目のサービス関連の作業を別の会社に割り当てます。メンテナンスまたは修理プロセス全体を割り当てると、その一部だけを割り当てることがあります。サービス外注には、資材フローサポートを使用する場合と使用しない場合があります。

消費

顧客による、または顧客の代理による、委託品目の倉庫からの出庫。顧客は、これらの品目を販売、製造などに使用することを目的としています。品目が出庫されると、顧客はその品目の所有者になるため、発注先に支払を実行する必要があります。

入庫

品目を倉庫に物理的に受け入れること。入庫で登録される項目には、入庫数量、入庫日、梱包票データ、検査データなどがあります。

倉庫手順

倉庫オーダーと扱い単位を処理する手順。倉庫手順はさまざまなステップで構成されています。活動とも呼ばれるこれらのステップでは、入庫、保管、検査、出庫などを行うために倉庫オーダーや扱い単位を取得する必要があります。倉庫手順は倉庫オーダータイプにリンクされているため、倉庫オーダーに割り当てられます。

輸送オーダー

特定の数の商品を輸送するための命令。輸送オーダーは、1つのオーダーヘッダと1つまたは複数のオーダーラインから構成されます。

輸送オーダーヘッダには、輸送オーダーにリストされている商品の納期、およびこの商品を受領する顧客の名前と住所など、一般情報が含まれます。

輸送オーダーラインには、輸送する品目の他に、この品目に関する明細 (数量や寸法など) が含まれます。

事前出荷通知

仮請求書のフォーム。顧客は事前に出荷の詳細通知を受け取ります。

頭字語: ASN

事前出荷通知

出荷が送付済であることを知らせる通知。事前出荷通知は、電子データ交換を利用して送受信されます。倉庫に商品が到着することを知らせる事前出荷通知を発注先から受け取ることがあったり、発注した商品がまもなく納入されることを知らせる事前出荷通知を顧客に送信したりすることができます。

同義語: 出荷通知

略字: 事前出荷通知

事前出荷通知

次を参照してください: 事前出荷通知 (ページ 67)

出荷通知

次を参照してください: 事前出荷通知 (ページ 67)

倉庫オーダタイプ

倉庫オーダのタイプを識別するコード。倉庫オーダタイプにリンクしたデフォルトの倉庫手順は、その倉庫オーダタイプが割り当てられた倉庫オーダの倉庫での処理方法を決定します。ただし、デフォルトの手順は、倉庫オーダごと、またはオーダラインごとに修正できます。

不合格在庫

次を参照してください: 隔離検査在庫 (ページ 71)

梱包票

出荷する特定の梱包内容を詳細に記載したオーダ文書。項目には、品目の説明、荷主または顧客の品目番号、出荷数量、および出荷品目の在庫単位などがあります。

直送

販売元が商品を購入元取引先からオーダーする処理。購買元取引先はまた、商品を販売先取引先に直接納入しなくてはなりません。販売オーダーまたはサービスオーダーにリンクされた購買オーダーを使用して、購買元取引先は商品を販売先取引先に直接納入します。商品は自社の倉庫から納入されないなので、倉庫管理は関係しません。

販売業者管理在庫 (VMI) のセットアップでは、顧客倉庫の購買オーダーを作成することで直送が達成されます。

販売元は次の理由で直送を決定できます。

- 利用可能在庫の不足
- オーダー数量が時間内に納入できない
- オーダー数量を自社で輸送できない
- 原価および時間が保存される

サービスオーダー

顧客サイトまたは会社で示されているとおりに、構成に対するすべての修理とメンテナンスを計画、実行、および管理するためのオーダー

バックオーダー

顧客オーダー不足分、または後日に納入される部分。品目に対する需要で、在庫が不十分であるため需要を満足できないもの

クロスドッキング

入庫商品を出庫のために、入庫場所から発送確定保管場所に即座に移動する処理。たとえば、この処理は利用可能な在庫がない既存販売オーダーを処理するために使用します。

次の 3 タイプのクロスドッキングが識別されます。

- [静的]
このタイプのクロスドッキングを開始するには、販売で販売オーダーから購買オーダーを生成する必要があります。
- [動的]
このタイプのクロスドッキングは倉庫管理で利用でき、次の特徴があります。
 - 在庫不足に基づいて実行する。
 - 商品の入庫時に明示的に定義する。
 - 臨時的に作成する。
- [直接資材供給]
このタイプのクロスドッキングを倉庫管理でを使用して、倉庫のクラスタにおける需要を満たすことができます。これは以下を基準にします。
 - 入庫
 - 手持在庫

注意

販売から生成されるクロスドックオーダーは、倉庫管理で作成されたクロスドックオーダーと同じ方法でメンテナンスできますが、販売オーダー/購買オーダーリンクは例外で、変更することはできません。

次を参照してください: 直接資材供給

作業オーダー

品目に対するメンテナンス工場または修理工場でのすべてのメンテナンスを計画、実行、および管理するために使用するオーダー。作業オーダーは、少なくとも 1 つの作業オーダーヘッダで構成され、修理可能なサービス品目に対して実行する必要のある複数の活動を含むことができます。

ASN

次を参照してください: 事前出荷通知 (ページ 67)

運送業者

輸送サービスを提供する組織。デフォルトの運送業者を出荷先および出荷元の両取引先にリンクさせることができます。さらに、運送業者でソートした梱包リストの販売オーダーおよび購買オーダーを出力することができます。

オーダー処理および請求処理では、必ず運送業者を取引先として定義してください。

同義語: 運送業者, ロジスティックサービスプロバイダ (LSP)

運送業者

次を参照してください: 運送業者 (ページ 69)

運送業者

出荷先取引先への商品の輸送責任を負う会社

クレーム票

実際の納入数量が梱包票の数量より少ない場合に購買元取引先に通知するために出力される通知票

督促

オーダされた商品の合意条件下での納入を発注先に促す購買オーダ文書

購買オーダタイプ

オーダタイプにより、オーダ手順の一部であるセッション、そしてこの手順が実行される方法および順序が決まります。

承認ルール

購買元取引先、購買担当、計画者、発効日、有効期限、金額といったデータ要素の組合せ。この組合せに基づいて購買オーダが承認されます。承認ルールは、受入ルールまたは例外ルールを基準にします。

輸入仕入原価

納入および倉庫への入庫までの品目の調達に関連付けされたすべての原価の合計。輸入仕入原価には、通常輸送費、保険費用、関税、および処理費用が含まれます。

輸入仕入原価は複数の輸入仕入原価セットの一部とすることができます。

購買要求

商品およびサービスを取得するための承認を得るためのユーザによる要求

購買要求には、標準および非標準の資材、原価、またはサービス要件が含まれます。購買要求の情報には、ヘッダセクションの名前、部署、保管場所、購買オフィス、承認者が含まれます。要求ライン詳細には、品目、発注先、数量、価格および数量が含まれます。

購買要求は、次のいずれかに変換できます。

- 購買オーダ
- 見積依頼 (RFQ)

見積依頼回答

見積依頼への回答。入札が記載された 1 つ以上の回答ラインを含んでいます。入札では商品またはサービスが特定の価格および販売条件で提供され、販売申込と見なすことができます。

発注先段階的支払

顧客から発注先に一定期間にわたって行われる分割払。段階的支払を使用すると、顧客は、品目を実際に受け取る前または受け取った後に品目について支払を行うことができます。品目の請求フローは、その商品フローから分離されます。

略字: SSP

隔離検査場所

倉庫検査時または製造時に最初に不合格になった商品が保管され、その処分を決定するためにさらに調査される倉庫保管場所のタイプ。

グローバル貿易コンプライアンス

グローバル貿易を行うために必要な国際規則、規制、ライセンスなどのグローバル貿易コンプライアンスデータを規定、監査、および自動化できる機能。このデータは、品目、取引先、輸入および輸出伝票がコンプライアンスチェックに合格するかどうかを確認するために使用されます。たとえば、オーダまたは出荷の伝票でコンプライアンスチェックの結果が不合格の場合、その伝票をブロックすることができ、ユーザはこれに対処する必要があります。

グローバル貿易コンプライアンスは、取引の遅延、追加コスト、輸入または輸出規制に抵触した場合の罰則のリスクを低減します。

隔離検査在庫

入庫検査時の最初の不合格後、または、製造時の作業手順の完了時に、隔離検査倉庫または隔離検査場所に送付された在庫。

隔離検査倉庫または隔離検査場所では、在庫の最終処分が決定されます。

- [現状のまま使用]
- [不良なし]
- [廃棄]
- [販売業者に返品]
- [再作業 (既存の仕様)]
- [再作業 (新しい仕様)]
- [再分類]

同義語: 不合格在庫

クライアントレート帳

取引先に対して輸送協定をメンテナンスできる輸送レート帳

運送業者レート帳

運送業者に対して運送協定をメンテナンスできる輸送レート帳

計画積込日

出荷元場所で積込が計画されている日付および時刻

荷降日

出荷先場所で荷降しが行われる日付および時刻

ロジスティックサービスプロバイダ (LSP)

次を参照してください: 運送業者 (ページ 69)

在庫約定

オーダーに対する在庫の予約。倉庫内の商品の実際の保管状況は考慮されません。以前は固定引当と呼ばれていました。

ペグ

プロジェクトと予算、要素と活動の組合せ。プロジェクトの原価、需要、供給の識別に使用されます。

SSP

次を参照してください: 発注先段階的支払 (ページ 71)

契約価格改訂

購買契約ラインの価格要素および値引要素についての、日付管理された合意。価格改訂を使用すると、長期にわたって複数の価格を有することができます。有効な改訂は、発効日から次の改訂の発効日まで、または契約ラインの有効期限まで有効です。

計画納期

オーダー/スケジュールラインの品目を納入しなくてはならない計画日。計画納期は、オーダー日/スケジュール生成日より前であってはなりません。

オーダーラインの位置番号

販売オーダーまたは購買オーダーでのオーダーラインの位置を識別するために使用する番号

見込バックオーダー

マニュアルで確認する必要がある、ユーザが修正できるバックオーダー

次の場合、見込バックオーダーとなることがあります。

- 納期の時点で、購買オーダーラインの入庫数量がオーダー数量より少ない
- 入庫数量の一部が検査で不合格になる
- 入庫数量とオーダー数量は等しいが、ユーザがバックオーダー数量をゼロよりも大きな値に変更している

購買オーダーヘッダ

購買オーダーの一般情報

購買オーダーヘッダには、特に以下が含まれます。

- 一般オーダーデータ
- 一般購買元取引先データ
- 支払条件
- 受渡条件

購買オーダーライン

次のような内容についての詳細情報が記録された購買オーダーのライン

- オーダー品目
- 価格合意
- 納期
- 出荷
- 請求

購買オーダーに 1 つ以上のラインを持つことができます。

購買の買掛入庫

請求がいつ購買商品に適用されるかを示し、オーダーまたはスケジュールの買掛および請求明細が含まれています。購買買掛入庫を使用して、買掛金モジュールとの間の更新が処理されます。

購買商品の支払が [使用払] に設定されている場合、購買オーダーまたは購買スケジュールに関連する在庫が消費されたとき、つまり倉庫から出庫されたときに買掛入庫が生成されます。支払が [貨物引換払] に設定されている場合、購買商品が入庫した時点で買掛入庫が生成されます。

回答ライン

見積依頼ラインへの回答であり、その見積依頼ラインへの入札者の入札が含まれています。入札では商品またはサービスが特定の価格および販売条件で提供され、販売申込と見なすことができます。

自己請求

取引先間での合意により、商品の入庫または消費を基準にして行われる、請求書の定期的な作成、照合、および承認。販売先取引先は、購買元取引先からの請求書を待たずに、商品に対する支払を行います。

購買オーダー勧告

経済在庫および品目の発注点をもとにした推奨。購買オーダー勧告は確認後、転送して実際の購買オーダーに変換する必要があります。

計画在庫処理

品目の計画オーダーによる在庫レベルの予測済変更

移動平均単位原価 (MAUC)

会計を目的とした在庫評価方法。

移動平均単位原価とは、現在の在庫の各単位の平均値です。新しく在庫するごとに移動平均単位原価が更新されます。

在庫番号

商品のすべての在庫ごとに割り当てられる連番

索引

- 構成要素, 65
 - 適切なメニュー, 65
 - 履歴, 17
 - 連番, 65
 - 電子データ交換, 65
 - 活動, 65
 - 購買請求書, 65
 - 出力, 61
 - 輸送請求との統合, 35
 - 購買オーダー, 66
 - クレーム票の出力, 61
 - グローバル貿易コンプライアンス, 59
 - 削除, 61
 - 手順, 13
 - 処理, 16
 - 統合, 19, 20
 - 督促状の出力, 61
 - 履歴, 17
 - 輸送, 33, 34
 - 購買スケジュール
 - 処理, 16
 - 履歴, 17
 - 輸送管理, 37, 39
 - 統合, 19, 20, 66
 - 調達
 - サービスとの統合, 43
 - デポ修理との統合, 43
 - フィールドサービスとの統合, 43
 - 輸送オーダー管理との統合, 34
 - 輸送との統合, 33
 - 外注, 66
 - サービス外注, 66
 - 調達, 45
 - 消費, 66
 - 入庫, 66
 - 倉庫手順, 66
 - 輸送オーダー, 66
 - 事前出荷通知, 67, 67
 - 出荷通知, 67
 - 倉庫オーダータイプ, 67
 - 不合格在庫, 71
 - 梱包票, 67
 - 値引
 - 消費後に変更, 61
 - 入庫後に変更, 61
 - 価格
 - 消費後に変更, 61
 - 入庫後に変更, 61
 - 直送, 37, 39, 68
 - サービスオーダー, 25
 - 販売オーダー, 23
 - サービスオーダー, 68
 - バックオーダー, 68
 - マニュアル確認, 51
 - 自動確認, 49
 - 返品オーダー, 55
 - クロスドッキング, 69
 - 輸送管理の統合, 37, 39
 - 直送販売オーダー, 37
 - 作業オーダー, 69
 - ASN, 67
 - 運送業者, 69, 70
 - 輸送請求
 - 購買請求書との統合, 35
 - クレーム票, 61, 70
 - 督促, 61, 70
 - 購買オーダータイプ, 70
 - 承認ルール, 70
 - 輸入仕入原価, 70
 - 追加部品
 - 購買, 44
 - デポ修理, 44
 - 購買要求, 70
 - 見積依頼回答, 70
 - 発注先段階的支払, 71
 - 隔離検査場所, 71
 - グローバル貿易コンプライアンス, 71
 - 購買オーダー, 59
 - 隔離検査在庫, 71
 - クライアントレート帳, 71
 - 運送業者レート帳, 71
 - 計画積込日, 71
 - 荷降日, 72
 - ロジスティックサービスプロバイダ (LSP), 69
-

在庫約定, 72
ペグ, 72
SSP, 71
契約価格改訂, 72
計画納期, 72
オーダーラインの位置番号, 72
見込バックオーダー, 72
購買オーダーヘッダ, 73
購買オーダーライン, 73
購買の買掛在庫, 73
回答ライン, 73
直送サービスオーダー, 39
購買バックオーダー, 49
自己請求, 73
購買オーダー勧告, 73
計画在庫処理, 73
移動平均単位原価 (MAUC), 74
在庫番号, 74
